



神奈川県

厚木保健福祉事務所

平成 25 年度

# 厚木保健福祉事務所年報

- 2 0 1 3 -

# 目 次

## 第1章 概 要

- 1 地域の概況 ..... 1
  - (1) 管内略図 ..... 1
  - (2) 管内人口及び世帯数等 ..... 2
  - (3) 人口動態総覧 ..... 2
  - (4) 医療関係施設 ..... 2
- 2 保健福祉事務所の概況 ..... 3
  - (1) 厚木保健福祉事務所の組織 ..... 3
  - (2) 職種別職員配置状況 ..... 4
  - (3) 平成25年度決算 ..... 5

## 第2章 健康な地域づくりの推進

- 1 生涯健康対策の充実 ..... 6
  - (1) 禁煙・受動喫煙対策 ..... 6
  - (2) 母子保健対策 ..... 9
  - (3) がん予防対策 ..... 22
  - (4) 食生活の対策 ..... 23
  - (5) 歯科保健対策 ..... 31
  - (6) 救急法普及啓発事業 ..... 37
- 2 感染症・結核対策の充実 ..... 38
  - (1) 感染症対策会議 ..... 38
  - (2) 結核予防事業 ..... 38
  - (3) 感染症予防事業 ..... 45
  - (4) 性感染症予防 ..... 47
  - (5) エイズ予防事業 ..... 48
  - (6) 肝臓疾患対策事業 ..... 49
- 3 メンタルヘルス対策の充実 ..... 50
  - (1) 精神保健福祉事業 ..... 50
- 4 認知症疾患対策の充実 ..... 57
  - (1) 認知症疾患対策保健所事業 ..... 57
- 5 難治性の疾患対策の充実 ..... 59
  - (1) 難病患者地域ネットワーク支援事業 ..... 59
  - (2) 難病患者等居宅生活支援事業 ..... 60
  - (3) 特定疾患医療援護 ..... 61
  - (4) 先天性血液凝固因子障害医療給付 ..... 62
- 6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業 ..... 63
  - (1) 被爆者健康手帳等交付状況 ..... 63
  - (2) 被爆者健康診断受診状況 ..... 63
- 7 石綿による健康被害の救済支援事業 ..... 64
  - (1) 相談対応状況 ..... 64
  - (2) 申請状況 ..... 64
- 8 地域保健師業務連絡会議等実施状況 ..... 65
  - (1) 地域保健師業務連絡会議総会 ..... 65
  - (2) 管内保健師研究会 ..... 65
  - (3) 定例連絡会 ..... 65
  - (4) 代表幹事会 ..... 65
- 9 保健師業務 ..... 66
  - (1) 家庭訪問 ..... 66

- (2) 所内指導 ..... 66
- (3) 家庭訪問以外の保健活動 ..... 66
- 10 保健福祉サービス連携調整会議 ..... 67

## 第3章 健康で快適な生活環境の確保

- 1 食品保健対策の充実 ..... 68
  - (1) 食品関係営業施設の監視指導 ..... 68
  - (2) 営業施設数の推移 ..... 69
  - (3) 食品等輸入事務所等の届出 ..... 71
  - (4) 食品・器具等の収去検査 ..... 71
  - (5) 違反食品等の発見等 ..... 71
  - (6) 違反施設 ..... 71
  - (7) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況 ..... 72
  - (8) 食品衛生講習会 ..... 72
  - (9) 苦情処理 ..... 73
  - (10) 免許取扱い数 ..... 73
- 2 環境保健対策の充実 ..... 74
  - (1) 生活衛生指導事業 ..... 74
  - (2) 水浴場等対策事業 ..... 76
  - (3) 温泉指導監督事業 ..... 77
  - (4) 動物保護等対策事業 ..... 77
  - (5) 水道指導事業 ..... 78
- 3 医薬品等安全対策の充実 ..... 79
  - (1) 薬事指導監督事業 ..... 79
  - (2) 毒物・劇物指導監督事業 ..... 80
  - (3) 麻薬指導監督事業 ..... 80
  - (4) 薬物乱用防止対策事業 ..... 81

## 第4章 健やかで安心した生活を支える福祉の推進

- 1 福祉事業の普及・支援 ..... 82
  - (1) 地域福祉の事業 ..... 82
  - (2) 福祉の貸付事業 ..... 85
- 2 福祉事業の推進 ..... 86
  - (1) 生活保護 ..... 86
  - (2) 障害児者福祉 ..... 88
  - (3) 児童福祉 ..... 89
  - (4) 女性保護 ..... 89
  - (5) 母子寡婦福祉 ..... 90

## 第5章 保健・医療・福祉基盤づくりと連携

- 1 保健医療福祉計画の推進 ..... 91
  - (1) 県央地区保健医療福祉推進会議 ..... 91
  - (2) 地域医療対策 ..... 91
  - (3) 地域・職域連携 ..... 92
  - (4) 医療と介護の連携 ..... 93
- 2 保健医療福祉の基盤づくり ..... 94
  - (1) 保健衛生研修 ..... 94
  - (2) 保健福祉事務所実習指導 ..... 94

(3) 衛生、福祉統計・報告	95
(4) 広報活動	95
(5) 市町村への支援状況	96
3 適正な保健・医療・福祉等の確保	97
(1) 医務	97
(2) 病院・診療所定期立入検査	97
(3) 医療関係相談	99
(4) 介護保険	100
(5) 免許取扱い数	102
(6) 献血	102
(7) 表彰	103
4 健康危機管理対策	105
(1) 災害対策	105

## 第6章 資料

1 保健福祉事務所の沿革	106
(1) 沿革	106
(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長	108
(3) 施設の状況	108
2 各種協議会委員一覧	109
(1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿	109
(2) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿	109
(3) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会感染症部会委員名簿	110
3 地域保健推進特別事業	110
4 職員の研究・学会等発表	111

# 第1章 概 要

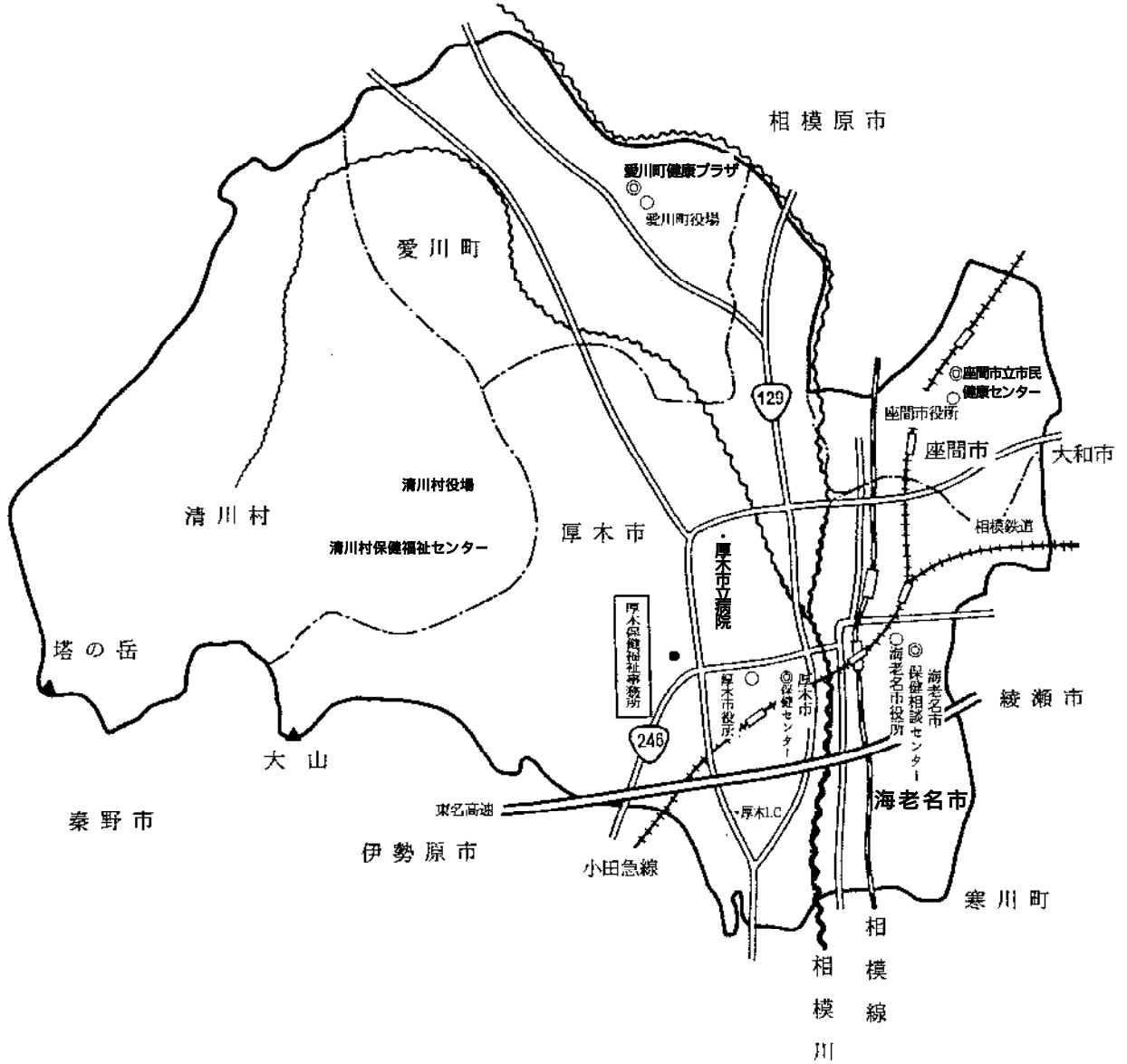
1 地域の概況	1
2 保健福祉事務所の概況	3





# 1 地域の概況

(1) 管内略図(平成26年3月現在)



## (2) 管内人口及び世帯数等

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

区分	面積 (k m <sup>2</sup> )	世帯数	人 口			人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	1世帯当たり 人口
			総数	男	女		
厚木市	93.83	95,641	224,700	116,705	107,995	2,395	2.35
海老名市	26.48	52,494	129,193	64,935	64,258	4,879	2.46
座間市	17.58	55,477	129,120	64,948	64,172	7,345	2.33
愛川町	34.29	16,147	40,555	21,124	19,431	1,183	2.51
清川村	71.29	1,161	3,285	1,717	1,568	46	2.83
合 計	243.47	220,920	526,853	269,429	257,424	2,164	2.38

神奈川県人口統計調査結果「神奈川県の人口と世帯」(統計センター)より

## (3) 人口動態総覧

(平成 24 年)

	出生数	死亡数	乳児 死亡数	新生児 死亡数	死産数	周産期 死亡数	婚姻数	離婚数
厚木市	1,668	1,592	3	2	35	9	1,251	476
海老名市	1,066	892	-	-	25	2	707	223
座間市	1,032	989	6	3	24	5	675	277
愛川町	230	317	-	-	11	4	182	100
清川村	17	23	-	-	-	-	14	6
合 計	4,013	3,813	9	5	95	20	2,829	1,082

## (4) 医療関係施設

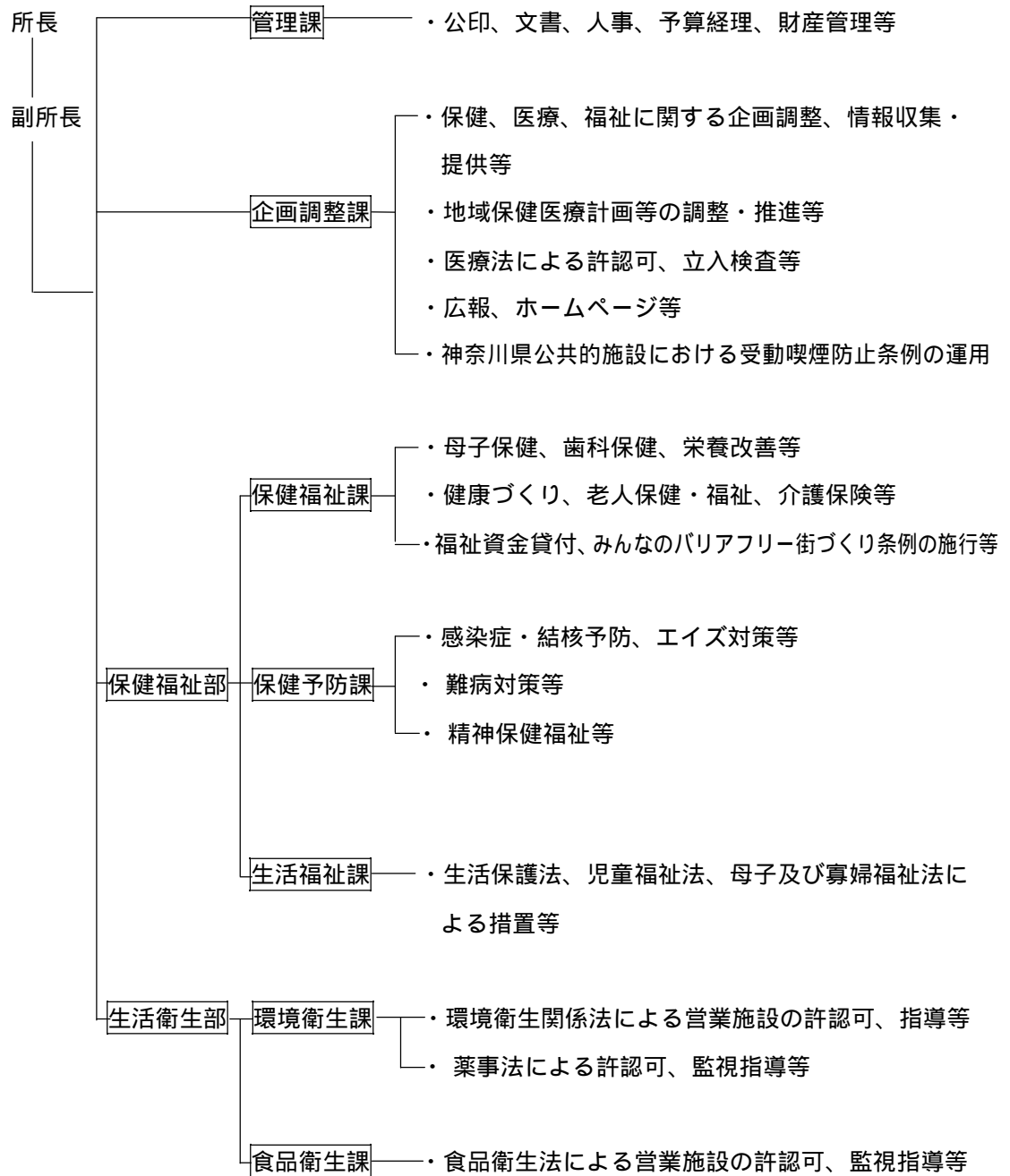
(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
医療施設 等	病 院	21	11	5	3	1	1
	一 般 診 療 所	317	148	84	64	19	2
	歯 科 診 療 所	238	110	58	56	13	1
	助 産 所	11	6	4		1	
薬事施設	歯 科 技 工 所	85	47	18	13	6	1
	薬 局	169	81	39	38	11	
施術所	医 薬 品 販 売 業	181	110	28	33	10	
	あんま・はり・きゅう	448	186	111	119	28	4
	柔 道 整 復	102	40	29	30	3	



## 2 保健福祉事務所の概況

### (1) 厚木保健福祉事務所の組織



(2) 職種別職員配置状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 X 線 職	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 職	そ の 他	計	備考
所 長			1										1	
副 所 長	1												1	
部 長				1						1			2	
管 理 課	(2) 5										(2) 1		(4) 6	
企画調整課	(4) 6							1					(4) 7	
保健福祉課	(2) 5	1				(1) 1	3	6					(3) 16	
保健予防課	2	3	(5) 2		(2) 1			5				(1) 1	(8) 14	
生活福祉課		8	(2)									(6)	(8) 8	
環境衛生課									1	(1) 6			(1) 7	
食品衛生課										10			10	
合 計	(8) 19	12	(7) 3	1	(2) 1	(1) 1	3	12	1	(1) 17	(2) 1	(7) 1	(28) 72	

( ) は非常勤で外数

(3) 平成 25 年度決算

ア 収入状況

科 目 \ 年 度	平成25年度(円)	平成24年度(円)	比較増減(円)
分担金及び負担金	1,189,228	4,352,084	3,162,856
使用料及び手数料	28,223,962	28,982,690	758,728
諸 収 入	11,435,430	3,172,047	8,263,383
合 計	40,848,620	36,506,821	4,341,799

イ 支出状況

(ア) 一般会計

科 目 \ 年 度	平成25年度(円)	平成24年度(円)	比較増減(円)
総 務 費	39,963,145	42,270,591	2,307,446
(総務管理費)	(39,963,145)	(42,270,591)	( 2,307,446)
民 生 費	550,694,930	556,345,668	5,650,738
(社会福祉費)	(66,701,176)	(66,095,763)	(605,413)
(児童福祉費)	(6,938,479)	(7,302,934)	( 364,455)
(障害福祉費)	(9,483,930)	(10,395,542)	( 911,612)
(老人福祉費)	(714,182)	(783,279)	( 69,097)
(生活保護費)	(466,857,163)	(471,768,150)	( 4,910,987)
衛 生 費	21,919,819	26,042,202	4,122,383
(公衆衛生費)	(8,976,045)	(9,659,565)	( 683,520)
(環境衛生費)	(656,550)	(758,252)	( 101,702)
(保健所費)	(11,198,774)	(14,440,058)	( 3,241,284)
(医薬費)	(1,088,450)	(1,184,327)	( 95,877)
労 働 費	0	1,084,232	1,084,232
(雇用対策費)	(0)	(1,084,232)	( 1,084,232)
県 民 費	3,960,772	4,014,693	53,921
(県 民 費)	(3,960,772)	(4,014,693)	( 53,921)
合 計	616,538,666	629,757,386	13,218,720

(イ) 特別会計

科 目 \ 年 度	平成25年度(円)	平成24年度(円)	比較増減(円)
母子寡婦福祉資金	6,000	6,000	0

## 第2章

# 健康な地域づくりの推進

1 生涯健康対策の充実 .....	6
2 感染症・結核対策の充実	38
3 メンタルヘルス対策の充実	50
4 認知症疾患対策の充実	57
5 難治性の疾患対策の充実	59
6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業	63
7 石綿による健康被害の救済支援事業 .....	64
8 地域保健師業務連絡会議等実施状況 .....	65
9 保健師業務 .....	66
10 保健福祉サービス連携調整会議 .....	67



# 1 生涯健康対策の充実

## (1) 禁煙・受動喫煙対策

### ア 地域禁煙推進サポート事業

平成17年より、がんをはじめとする生活習慣病予防対策推進のため、生活習慣病の大きな要因である喫煙率の低下を目指し、研修、教育、相談等の事業を実施しました。

#### (ア) 地域禁煙サポート会議

開催日	内 容	構成員	出席者数
2月6日	・各市町村のたばこ対策の取組状況等	市町村たばこ対策担当者 保健福祉事務所担当者	9

#### (イ) 研修

開催日	内 容	構成員	参加者数
2月6日	「卒煙相談の実際」 ～ 動機づけ面接法を中心に～	市町村たばこ対策担当者 保健福祉事務所職員 医療機関看護師 産業保健師	21

#### (ウ) 地域禁煙サポート教育

開催日	内 容	対 象	参加者数
7月1・3・4日	「清川村やまびこ健診」禁煙コーナー クイズ解説、パンフレット配布	清川村民	67
10月28日	健康あつぎ推進リーダー研修 講演「たばこの正体 ～ みなさんに伝えてほしいこと」	健康あつぎ推進 リーダー	19
2月6日	神奈川工科大学 部活リーダー研修 講演「たばこの正体」	各部活部長 学友会執行部等	63

#### (エ) 地域禁煙サポート相談（随時相談）

##### a イベント出張相談

開催日	内 容	対 象	参加者数
6月2日	愛の禁煙キャンペーン スモーカーライザー体験、相談	海老名市民他	60
10月27日			46
7月1・3・4日	「清川村やまびこ健診」禁煙コーナー スモーカーライザー体験、相談	清川村民	17

##### b 随時相談

件数	実数	延数
	4件	5件

## イ 高校生への喫煙防止教育の実施

平成23年度までの3年間実施された「神奈川県力まるごと活用事業」に引き続き、未成年者の喫煙防止対策を一層充実させるため、健康に深刻な影響を与えるたばこについて、高校生が適切な意思決定や行動ができるよう、希望する学校に対し、保健福祉事務所の医師や保健師による喫煙防止教育を実施しました。

### 平成25年度実施状況

学 校 名	実 施 日	対象者・数
県立商工高等学校	平成25年7月12日	2年生 240
生田東高等学校	平成25年7月16日	1・2・3年生 840
厚木清南高等学校	平成25年9月27日	2年生 240
橋本高等学校	平成25年12月18日	1年生 270

## ウ 受動喫煙防止条例の推進

平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共の施設における受動喫煙防止条例」について、施設管理者向け説明会、県民向け周知キャンペーン、条例の周知と施設の現状の確認を目的とした戸別訪問等に重点的に取り組みました。

### (ア) 施設管理者向け説明会の実施

項 目	回数	参加者
各種講習会等合同説明会	25	547

### (イ) 県民向け周知キャンペーン（チラシ等配布）の実施

項 目	回数	配布枚数
街頭キャンペーン	2	1,500
市町村健康まつり	1	1,000
学園祭参加	1	1,000

### (ウ) 戸別訪問等実施件数（市町村別延件数）

地 域	訪問等件数
厚木市	947
海老名市	653
座間市	347
愛川町	157
清川村	35
相模原市	1,645
合 計	3,784

### (エ) その他の周知活動

県央愛川農業協同組合有線放送出演、来所、電話相談への対応等



(2) 母子保健対策

平成 25 年度から未熟児訪問指導が市町村へ移譲されました。当所管内においては、市町村と調整の結果、平成 24 年度までに出生した未熟児のうち、継続支援が必要な児については、引き続き当所が支援しました。さらに、未熟児訪問指導および関連事業を開始した市町村と連携し、技術支援等の実施により、円滑な母子事業の推進を図れるようにしました。

また新たな事業として、小児慢性特定疾患児への支援強化、周産期からの児童虐待防止への取組み、不妊症への取組みも実施しました。

ア 養育支援事業（平成 17 年度～）

小児慢性特定疾患児などの障害・疾病を持って長期に療養する子どもとその保護者等が、地域で健康的な生活を送れるように、子どもの発育発達及び保護者等の養育を支援する事業を、医療・福祉・教育等の関係機関と連携しながら実施しました。

(ア) 訪問指導

a 慢性疾患児訪問指導実施状況

区分 市町村名	実人数	延人数	(再掲)小児慢性特定疾患	
			実人数	延人数
総 数	113	208	62	77
厚 木 市	68	98	46	49
海老名市	23	65	6	14
座 間 市	5	11	3	5
愛 川 町	17	34	7	9
清 川 村				

b 未熟児訪問指導実施状況

区分 市町村名	実 数 計	延 数 計	体 重 別 訪 問 指 導 件 数							
			1,000g 未満		1,000g ~ 1,499g		1,500g ~ 1,799g		1,800g ~ 1,999g	
			実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
総 数	159	351	9	25	15	27	13	36	15	32
厚 木 市	62	142	1	3	7	13	6	13	7	16
海老名市	48	121	4	15	1	6	3	10	5	7
座 間 市	22	39	3	5	2	2	3	11	1	1
愛 川 町	27	49	1	2	5	6	1	2	2	8
清 川 村										

区分 市町村名	体 重 別 訪 問 指 導 件 数			
	2,000g ~ 2,499g		2,500g 以上の 養 育 医 療	
	実数	延数	実数	延数
総 数	103	224	4	7
厚 木 市	39	95	2	2
海老名市	35	83		
座 間 市	11	15	2	5
愛 川 町	18	31		
清 川 村				

c その他の訪問

区分 市町村名	養育困難な母		乳幼児(未熟児の同胞等)		特定妊婦(産婦含む)	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
総 数	4	27	8	26	2	5
厚 木 市	2	9	4	18		
海老名市	1	17	2	2		
座 間 市			1	3		
愛 川 町	1	1	1	3	1	2
清 川 村					1	3

(イ) 養育相談(こども発達専門相談)

発達育の経過観察等が必要な児及び保護者の養育を、総合的な視点から支援を行うため、医師、理学療法士、管理栄養士、保健師等による相談を、市町村支援の一環として実施しました。

開設回数	来所者数		把握方法(実数)							
	実数	延数	保健福祉事務所			市町村		医療機関	その他	計
			小児特定疾患	長期療養児等	未熟児	未熟児	その他			
5	21	30		2	14	1	3	1		21

相談目的(重複)						処遇(延数)						
発達	発達	疾病	栄養	生活	その他	問題なし	再受診	家庭訪問	電話確認	医療機関紹介	療育機関等紹介	市町村へ引継ぎ
15	26	1	18	1	1	7	13	3	1		1	5

(ウ) 所内指導(養育支援対象者)

		精神障害(母)	難病(母)	妊婦	産婦	障害児	小児特定	未熟児	乳児	幼児	その他(同胞等)
実人数		4		2	2	110	95	261	4	26	4
延人数		17		9	10	370	186	666	12	56	7
指導方法	面接			1	5	42	67	16	3	2	2
	電話	17		8	5	270	97	599	9	54	5
	文書・メール					63	28	51			

(工) 養育不適切事例への支援

慢性疾患児等において、児童虐待の疑い事例について、虐待予防の観点から、訪問、相談、児童相談所への通報等を行いました。(P9-10 慢性疾患児訪問指導実施状況・未熟児訪問指導実施状況の再掲)

a 対応状況

	訪 問	相 談
実人数	41	
延人数	170	657

b 対象者の年齢 被虐待児

対象人数	妊娠期	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上
41	1	10	8	10	7	3		2

c 虐待の内容 重複あり

延人数	身体的	心理的	性的	ネグレクト	その他
48	4	5		16	23

d 児童相談所・市町村への通告

実人数	7
-----	---

内容：身体的虐待・ネグレクト・所在不明

(オ) 集団指導

a 養育支援教室

教室名	開催日	内容	講師等	参加者数
小児慢性特定疾患講演会	2月27日	講演 「こどもの気持ちの変化、親の対応～こどもの成長に寄り添って～」 体験談・交流会	東京女子医科大学 小児看護学 教授 日沼 千尋 講師 青木 雅子	親 20 子 6
子育て交流会 (医療機器装着児および重症心身障害児等とその保護者)	10月3日	講演・実技 「ヨガ・情報交換会」	東京ヨガセンター インストラクター 大堀 多恵子	親 6 子 6
	11月5日	講演・実技 「アロマ・情報交換会」	日本チャイルドボディワーク普及協会セラピスト 岩下 祐子	親 4 子 5
ダウン症児教室 (親の会主催、 当所共催)	6月12日	「ベビーマッサージ」	助産師 鈴木 あき	親 19 子 12 その他 2
	8月4日	「ダンスレッスン・発表会」	ダンスインストラクター 志田 波生	親 25 子 17 その他 4
	8月26日	講演・相談会 「ダウン症児の 歩行支援」	帝京平成大学健康メディカル学部理学療法学科 教授 田代 千恵美	親 13 子 13 その他 4
	10月9日	講演・実技 「ふんわりアロマでリフレッシュ」	日本チャイルドボディワーク普及協会 セラピスト 岩下 祐子	親 16 子 9 その他 1
	1月10日	「歯科講演会」	さくら歯科 歯科医師 中村 盛幸	親 12 子 11

b 親の会支援

教室名	回数	内容	参加延人数
ダウン症児親の会 ひまわり会	8	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	182
アレルギー児親の会 アレルギーサークル	3	情報交換・交流会	46

イ 市町村による未熟児訪問指導に対する支援

未熟児訪問、未熟児等関連事業を平成25年度から市町村が開始したことに伴い、技術支援や実務会議等を実施しました。

(ア) 未熟児等訪問の依頼による同行

総数(件)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
4	2		2		

(イ) 市町村別母子保健情報交換会におけるケース相談・ミニ研修

総数(回)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
30	2	3	12	7	6

(ウ) 発達専門相談の活用 (P11より市町村ケース再掲)

総数(人)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
4		4			

(エ) 市町村主催研修(勉強会)への講師派遣

総数(回)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
3	1			1	1

(オ) 医療連携会議

開催日	内 容	病院参加者	行政参加者	参加者数
11月18日	1 病院からの未熟児継続看護連携状況について 2 地域における未熟児・ハイリスク母子支援体制について 3 大和市立病院における院内支援体制について 4 北里大学病院患者支援センターにおける連携支援の実際について 5 質疑応答・意見交換	北里大学病院 患者支援センター看護師 大和市立病院 小児科医師 NICU 看護師 産科助産師	厚木・大和保健福祉事務所管内市町村保健師 保健福祉事務所保健師	22
12月9日	1 病院からの未熟児継続看護連携状況について 2 地域における母子支援体制について 3 事例を通じた連携の現状について 4 総合相談室・入退院センターの機能について 5 質疑応答・意見交換	東海大学医学部 付属病院 小児科医師、NICU 師長・看護師、産科助産師、外来師長・小児科看護師、総合相談室室長、入退院センター看護師、総務課事務職	厚木・秦野・平塚保健福祉事務所管内市町村保健師 保健福祉事務所保健師	31

ウ 周産期からの児童虐待予防のための保健医療福祉ネットワーク事業

児童虐待との関連が注視されている養育困難、育児不安、精神疾患等を抱える妊産婦に対し、厚木保健福祉事務所管内周産期医療機関、所管市町村、児童相談所及び保健福祉事務所等が連携し、周産期から児童虐待予防を推進する連携体制を確立することを目的に開始しました。

(ア) 会議

開催日	内 容	講師	出席者	参加者数
5月15日 準備会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の児童虐待の現状について</li> <li>・各市町村における周産期からの取組の現状と課題について</li> <li>・先駆的に取り組んでいる平塚市の周産期からの児童虐待予防</li> <li>・今後の取組について</li> <li>・意見交換</li> </ul>	平塚市健康課 古畑真希子  平塚市こども家庭課 白井純人	管内市町村母子保健主管課長及び担当者、児童福祉主管課長及び担当者 児童相談所子ども支援課長・保健師	24
6月25日 第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の児童虐待の現状について</li> <li>・周産期医療機関等における出産後に支援が必要な妊産婦の現状と課題について</li> <li>・平塚保健福祉事務所管内における先駆的な取り組みについて</li> <li>・今後の取り組みについて</li> <li>・意見交換</li> </ul>	平塚保健福祉事務所 宮崎晃子  小清水産婦人科助産師 日浦由美子	管内周産期医療機関担当者 市町村母子保健主管課長及び担当者、児童福祉主管課長及び担当者 児童相談所保健師	36
1月28日 第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行期間の実績報告</li> <li>・周産期医療機関、市町村からの報告</li> <li>・意見交換</li> <li>・研修「養育支援が必要な妊産婦のアセスメントと周産期における支援及び地域との連携について」</li> <li>・本格実施について</li> </ul>	北里大学看護学部 生涯発達看護学 准教授 新井陽子	児童相談所保健師	28



(イ) 研修

周産期医療従事者が特定妊婦への支援及びスムーズな連携のスキルアップを図るための研修を、3箇所の医療機関で開催しました。

開催日 医療機関名	内 容	講師	出席者	参加者数
11月25日 代田産婦人科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修</li> <li>『虐待予防に向けた取り組み～産科的視点から～』</li> <li>・厚木児童相談所からの報告</li> <li>・意見交換</li> </ul>	北里大学病院総合周産期母子医療センター産科助産師 下 園 綾	院内職員 他院看護師 市町村 児童相談所 保健福祉事務所	29
12月6日 厚木市立病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木児童相談所からの報告</li> <li>・厚木市からの報告</li> <li>・研修(同上)</li> <li>・厚木市立病院の児童虐待対応について</li> </ul>	同上	院内職員 市町村 児童相談所 保健福祉事務所	50
12月11日 湘南厚木病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業説明</li> <li>・研修</li> <li>『周産期からの児童虐待予防の取り組み』</li> <li>・意見交換</li> <li>・厚木児童相談所からの報告</li> </ul>	小清水産婦人科助産師 日浦由美子	院内職員 市町村 児童相談所 保健福祉事務所	28

(ウ) 情報交換会

市町村母子保健関係者及び医療機関との情報交換会を、2箇所の医療機関で開催しました。

開催日 医療機関名	内 容	出席者	参加者数
11月11日 並木産婦人科クリニック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村母子保健情報、子育て支援情報の紹介</li> <li>・ハイリスク妊婦の支援状況と課題</li> <li>・厚木児童相談所からの報告</li> <li>・質疑応答、意見交換</li> </ul>	院内職員 市町村 児童相談所 保健福祉事務所	36
12月5日 海老名総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内での気になる妊産婦の支援状況、虐待防止委員会の取組について</li> <li>・市町村の特定妊婦の妊娠中からの支援及び課題について</li> <li>・厚木児童相談所からの報告</li> <li>・質疑応答、意見交換</li> </ul>	院内職員 市町村 児童相談所 保健福祉事務所	17

(エ) ポスター・チラシ作成

円滑な連携及び支援のために、医療機関等で掲示または配布するポスター・チラシを作成しました。

- ・ポスター 50部(17医療機関 30部、5市町村 18部、児童相談所等 2部)
- ・チラシ 8000部(17医療機関 7260部、5市町村 730部、児童相談所等 10部)

エ 生涯を通じた女性の保健相談等事業(平成10年度～)

女性は、妊娠、出産等固有の機能だけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えていることがあります。そのため、女性がその健康状態に応じ、的確に自己管理ができるよう相談及び健康教育を実施しました。

(ア) 一般相談

総 数 ( 件 )	相談方法			相談回数		相談者	
	電 話	面 接	そ の 他	相 初 談 回	再 相 談	本 人	そ の 他
28	28			28		28	

(イ) 健康教育

開催日	内 容	講師	参加者数
12月10日	講演 「不妊・不育症とうまくつき合うために」 座談会	慶應義塾大学医学部 産婦人科教室 各務真紀	当事者 12 その他 13
2月10日 2月25日	みんなに知って欲しい「女性と男性のカラダのこと」	保健福祉事務所 保健師	学生 7
3月17日	「不妊・不育症」座談会	なし	当事者 5

オ 思春期保健事業（昭和 62 年度～）

思春期男女の心身の健全な成長と、将来の母性の健康増進を図ることを目的に、思春期特有の医学的問題、性に関する不安や悩み等に対して健康教育を実施しました。

教室名	開催日	内 容	講 師 等	参加者数
性教育	8 月 30 日	知的障がい者への性教育	保健福祉事務所 保健師	対象者 2 施設職員等 5

カ 特定不妊治療費助成事業（平成 16 年度～）

指定医療機関で体外受精及び顕微授精を受けた場合の治療に要する費用の一部を助成しました。

総 数（件）	厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清川村
573	239	148	147	39	

キ 不妊・不育症相談事業（平成 16 年度～）

不妊等に関する相談を面接又は電話により行いました。

総 数 ( 件 )	相 談 方 法			相 談 回 数		相 談 者		相 談 契 機 (実数)				
	電 話	面 接	そ の 他	相 初 談	再 相 談	本 人	そ の 他	広 報	市 町 村	事 務 所	保 健 福 祉 社	そ の 他
6		6		5	1	6					6	

## ク 小児の医療援護

### (ア) 自立支援医療費（育成医療）給付（平成18年度～）

18歳未満の身体障害児が指定医療機関で治療を受けたときの費用の一部を給付（原則として医療費の10%を自己負担。ただし、負担上限額あり。医療機関において自己負担金を徴収）する事業で、平成25年4月1日から市町村へ権限移譲されました。

### (イ) 小児慢性特定疾患医療給付（平成17年度～）

小児慢性特定疾患に罹患し、対象基準に該当する18歳未満の児童（継続申請に限り20歳未満）が、委託医療機関で治療を受けたときの費用を給付しました（保護者の所得税額により医療機関において自己負担金を徴収）。

区分 市町村名	総 数 (件)	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	・ 血 友 病 等 血 液 疾 患 免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患
総 数	350	49	21	3	71	111	17	27	15	17	12	7
厚 木 市	158	26	6	2	30	43	10	14	7	8	8	4
海老名市	86	14	5		21	30	4	4	3	1	3	1
座 間 市	74	7	7	1	16	28	3	3	1	7		1
愛 川 町	32	2	3		4	10		6	4	1	1	1
清 川 村												

### (ウ) 未熟児等養育医療給付（昭和33年度～）

未熟児は正常の新生児と比べ、疾病にかかり易く死亡率も高いことから、出生後速やかに適切な処置を講じる必要があるため、指定医療機関において必要な医療の給付（保護者の所得税額により当所において自己負担金を徴収）を行う事業で、平成25年4月1日から市町村へ権限移譲されました。

(工)療育医療給付(昭和36年度～)

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行いました。

申請なし

ケ 母子保健委員会

(ア) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町村が実施する母子保健関連事業が円滑かつ効果的に行われるよう各種の母子保健関連業務の課題の検討や実績等の分析評価を実施し、母子保健施策の向上を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	構成員	出席者数
2月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・母子保健部会報告</li><li>・未熟児医療連携会議報告</li><li>・周産期からの児童虐待予防のための保健医療福祉ネットワーク事業報告</li><li>・管内母子保健事業(新規・変更分)の実績及び計画の報告</li><li>・平成26年度母子保健委員会等について</li></ul>	医師会 市町村母子保健主管課長 児童相談所 保健福祉事務所長	16

(イ) 母子保健部会

開催日	内 容	構成員	出席者数
8月5日	<ul style="list-style-type: none"><li>・未熟児訪問および関連事業の状況について</li><li>・未熟児等の発達支援について</li><li>・意見交換</li></ul>	市町村母子保健担当保健師 保健福祉事務所母子担当保健師	12
11月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・幼児健診からの保健師の支援について</li><li>・未熟児訪問指導および関連事業の状況</li><li>・周産期からの虐待予防ネットワーク事業について</li><li>・25年度母子保健委員会の議題について</li><li>・26年度母子保健部会のテーマについて</li><li>・意見交換</li></ul>		13

(3) がん予防対策

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、がん検診受診率の向上を目指し、地域のニーズや実情に応じて企業や県民にがん検診受診を啓発しました。

ア 地域企業におけるがん検診受診促進事業（平成 23 年度～）

勤労者のがん検診受診促進に向けた啓発を目的として、地域の企業、事業所等を対象とした関係機関主催の研修会等で、講話、啓発を実施しました。

開催日	研修会名	啓発方法	参加者数 または 配布部数
6月～7月	厚木保健福祉事務所食品衛生課主催 食品衛生責任者講習会	啓発講話 2回 リーフレット配布のみ2回	225 131
11月5日 8日	厚木保健福祉事務所保健福祉課主催 介護保険事業所対象感染症予防研修会	スライド上映	50
2月4日	厚木保健福祉事務所環境衛生課主催 美容所衛生講習会	啓発講話 リーフレットの配布	248

イ がん検診普及啓発セミナー（平成 24 年度～）

がん検診受診率の一層の向上を目指して、市町村、保健福祉事務所、NPO、関係団体等が協働して、がん検診受診の啓発活動を行いました。

(ア) がん検診普及啓発キャンペーン

月日	内容	対象	啓発方法	参加者数
7月28日	海老名市健康まつり (海老名市総合体育館)	海老名市民まつり・子育てフェスティバルと同時開催の「健康まつり」に来所された市民	乳がん自己触診体験 リーフレット配布	59名 100名
11月4日	座間市健康まつり (座間市立座間中学校)	市民まつりと同時開催の「健康まつり」に来所された市民	乳がん自己触診体験 アンケート記入とノベルティ配布 リーフレット配布	43名 50名 230名

(イ) がん予防講演会

月日	内容	講師	対象	参加者
2月13日	がん体験談	キャンサーネットジャパン コーディネーター 村上 利枝	座間市食生活改善推進員	35名

#### (4) 食生活の対策

##### ア かながわ健康プラン 21 栄養・食生活対策

###### (ア) 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域で総合的な食生活改善活動を効果的に推進していくことを目的として、食生活の実態把握・診断及びそれに基づく食生活改善方策、関連分野との連携について協議しました。

開催日	協議内容	構成員	出席者数
2月21日	・「かながわ健康プラン 21（第2次）」 「食みらいかながわプラン 2013」 について ・地域における食や健康に関する取組み について ・厚木保健福祉事務所の『若い世代から の食生活支援対策事業』の実施状況と 今後の取組みについて ・平成 26 年度の地域食生活対策推進協議 会について	産業医、厚木地区給 食協議会会長、工業 団地協同組合常務理 事、大学学生支援本 部長、食生活改善推 進団体会長、学識経 験者 等	16

###### (イ) 若い世代への食生活支援体制づくり事業（平成21年度～）

当所ホームページの栄養・食生活ページの充実及び更新（「まいあさごはん」「気になる!?隣の社食ごはん」等）を行い、ツイッターを活用して積極的に情報発信をしました。

- a 学生食堂を健康づくりに活かす大学の紹介を『あつぎの学生食堂』と題してホームページへ掲載。
- b 若い世代の野菜摂取を促すことを目的に『野菜活動(やさかつ)のすすめ』と題してホームページへ掲載。
- c 若い世代、社員食堂、地域から野菜をたっぷり使ったレシピを集め『MY(まいや)さい飯』と題してホームページへ掲載。

(ウ) 栄養・食生活対策推進事業(平成18年度～)

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

内容	区分	集 団 指 導		対 象
		回数	延人数	
総 数		6	261	
職域等と連携した生活習慣病予防対策		1	12	林業職新規従業者
		1	43	事業所安全衛生健康管理スタッフ
関係機関と連携した介護予防のための低栄養対策		1	51	老人会加入者
学校等と連携した食生活自立支援対策		1	42	小学校主任児童委員、PTA、教職員
		1	90	県立高校定時制生徒(全学年)、教職員
その他栄養・食生活対策推進事業		1	23	若い世代(18歳～39歳)

(エ) 栄養表示等適正化推進事業(平成8年度～)

健康づくりや生活習慣病予防のために、栄養表示基準制度の普及啓発と活用を推進するとともに、表示の適正化について指導・調査を行いました。

a 普及啓発講習会

対象	区分	回数	参加延人数	内 容
事業者		2	298	栄養表示基準制度の普及啓発
消費者				
給食施設		2	302	給食施設における栄養表示の普及啓発
合計		4	600	

b 事業者に対する表示適正化指導

区分	内容	健 康 増 進 法			合 計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
件 数			4		4
延 回 数			6		6



c 消費者からの相談 平成25年度該当なし

区分	内容	健康増進法			合計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
件数					
延回数					

d 収去・買取調査

区分	内容	健康増進法			合計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
収去	件数				
栄養表示 状況調査	件数				
管内業者 栄養表示 状況調査	件数		565		565

(オ) 専門的栄養指導・食生活支援事業(平成6年度～)

慢性疾患及び難病等や、養育上の課題を持つ児(未熟児や嚥下障害児等)及びその保護者に対し、個々に適応した相談を行いました。また、それらに関わる支援者に対し、相談技法や食生活指導の実際について研修会を開催しました。

a 専門栄養相談

疾病別件数					乳幼児(未熟児 嚥下障害等) (件)
糖尿病合併症	脂質異常症・ 肥満合併症	肝・腎臓疾患	難病	その他	
2		1		5	96

b 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉、職域等の関係者に対し保健指導技術の向上及び事業の円滑実施のための研修会を開催しました。

開催日	内 容	講 師	参加者数
9月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「給食施設における食物アレルギー対応について」 ～現場における留意点から対応の工夫まで～</li> <li>・意見交換</li> </ul>	独立行政法人神奈川県立 病院機構神奈川県立こども医療センター 栄養管理科 管理栄養士 中村 早織	80

(カ) 市町村支援

a 管内栄養改善業務連絡調整

保健福祉事務所と市町村の栄養改善業務の効果的推進及び共有化を図るため、会議を開催しました。

会 議 名	開 催 日	内 容
管内市町村 栄養改善業務 連絡調整会議 (担当者会議)	5月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度栄養改善業務計画について</li> <li>・食生活改善推進員養成合同講座について</li> <li>・低出生体重児の栄養・食生活支援について</li> </ul>
	11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の進捗状況について</li> <li>・低出生体重児の栄養・食事支援について</li> <li>・愛川町健康プラザ調理実習室見学</li> </ul>
	3月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度栄養改善業務について</li> <li>・平成26年度栄養改善業務計画について</li> <li>・平成26年度食生活改善推進員養成合同講座について</li> <li>・摂食機能発達相談について</li> </ul>

b 技術支援

市 町 村 名	内 容
海老名市	「かながわ保健指導モデル事業」への支援

(キ) 地域保健活動推進研修(平成18年度～)

地域住民の健康の増進を目的とした栄養指導その他保健指導に必要な専門知識及び技術を修得するために県、市町村等の地域保健担当者を対象に研修を行いました。

開催日	内 容	講 師	参加者数
11月29日	・講演「人を変えられる食育とは」 ～生活習慣病の予防と 改善につなげる～ ・意見交換	神奈川工科大学 応用バイオ科学部 栄養生命科学科 教授 饗場 直美	38

(ク) 人材育成

a 食生活改善推進団体あゆみ会の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善の自主的な実践活動を展開するための育成指導を行いました。

指導回数	延人数	備 考
6	235	定例会・研修会

b 在宅栄養士の育成

市町村をはじめ地域で食生活改善活動を行っている在宅栄養士会の育成支援を行いました。

回数	延人数	備 考
2	27	フリー栄養士の会会員 フリー栄養士定例会

(ケ) 国民健康・栄養調査(昭和20年度～)

実施地区	対象世帯数	実施世帯数	実施人数	内 容
厚木市飯山	9	4	7	栄養摂取状況調査・身体 状況調査・生活習慣調査

イ 特定給食等指導事業（昭和 27 年度～）

健康増進法及び小規模特定給食施設の栄養改善に関する条例に基づく特定給食施設等に対し、講習会や実地指導等により必要な指導・助言を行い、利用者の健康づくりを推進しました。

また、給食施設栄養管理報告書により栄養管理状況の把握を行うとともに、管理栄養士の配置が必要な特定給食施設に対して指定及び取消し等の指導を行い、栄養管理の充実を図りました。

（ア）特定給食施設等講習会

区分	実施回数	開催日	内容	講師	参加施設数	参加者数
総数	3				298	338
全体講習会	2	5月15日	講話(1)「衛生管理～食中毒予防について～」	厚木保健福祉事務所 食品衛生監視員	268	302
		6月19日	講話(2)「栄養・食生活に関する情報提供」	厚木保健福祉事務所 管理栄養士		
（病院・介護保険施設） 種別講習会	1	12月3日	(1)講演「QOLを考えた栄養と食事サービス」～よりよい栄養管理のために知っておきたい経口栄養法・経腸栄養法～ (2)情報交換	湘南ホスピタル 栄養科長 林静子	30	36

(イ)健康増進法第18条第1項第2号に基づく給食施設指導

区 分		管理栄養士のみいる	栄養士のみいる	どちらもある	どちらもない	延指導件数
		施設数	施設数	施設数	施設数	
管理栄養士配置指定施設	学 校					
	病 院	1		6		8
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	10		4	1	18
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
合 計	11		10	1	26	
1回300食以上又は1日750食以上を除く	学 校	19	13	4	3	43
	病 院					
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	1	4		3	8
	寄宿舎					
	自衛隊	1				
	その他					
合 計	21	17	4	6	51	
1回100食以上又は1日250食以上を除く	学 校	2	8		4	16
	病 院	1		9		10
	介護老健	1		7		6
	老人福祉	2		9		10
	児童福祉		7	3	13	26
	社会福祉	1	2	4		5
	事業所	1	6	2	18	35
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他		1			1
合 計	8	24	34	35	109	
その他の給食施設	学 校		1		1	3
	病 院	3		2		4
	介護老健			3		2
	老人福祉	3	1	8	1	10
	児童福祉	5	12	2	21	38
	社会福祉	2		1	4	9
	事業所		6		21	29
	寄宿舎				2	2
	自衛隊					
	その他		3		10	13
合 計	13	23	16	60	107	

(ウ) 給食施設栄養管理報告書の提出状況

区 分	対象施設数	提出施設数	電子届出数(再掲)
学 校	55	55	1
病 院	22	21	5
介 護 老 健	11	11	2
老 人 福 祉	25	25	14
児 童 福 祉	63	62	24
社 会 福 祉	15	14	9
事 業 所	76	67	3
寄 宿 舎	2	1	
自 衛 隊	1		
そ の 他	16	16	
合 計	286	272	58

(5) 歯科保健対策

ア 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業（平成7年度～）

市町村実施の1歳児歯科教室、1歳6か月児歯科健診、2歳児歯科健診でう蝕ハイリスク要因を保有し、継続的な歯科保健指導等が必要と認められる幼児と保護者に対して、歯科健診、歯科保健指導、う蝕予防処置等を行いました。

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数			予防処置者等数				
	初診	再診	合計 (延人数)	フッ素 塗布者数	フッ化ジアン ミン銀塗布者数	フッ素 液磨き	R D テスト	合計 (延人数)
60	203	320	523	244	306	5	9	564

(イ) 初診者の把握経路

区分 市町村名	市町村事業(人)				保健福祉 事務所事業 (人)	合計
	1歳児歯科教室	1歳6か月児健診	2歳児健診	その他		
厚木市		15	19		4	38
海老名市		31	26			57
座間市	8	32	24			64
愛川町	3	5	21			29
清川村				15		15
合計	11	83	90	15	4	203

(ウ) 初診者のう蝕有病状況

把握事業名	区分 受診者数 (人)	う蝕の状況(人)		
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし
1歳児歯科教室	11	2		9
1歳6か月児健診	83	22	9	52
2歳児健診	90	40	13	37
その他	15	3	4	8
保健福祉事務所事業	4	2		2
合計	203	69	26	108

イ 歯周疾患予防対策事業（歯ぐきのセルフチェック講座）（昭和63年度～）

20歳～30歳代の者に対して、歯周疾患予防及び進行防止のためのセルフケア技術・生活習慣に関わる知識を普及し推進しました。

開設回数	受診者数(延人数)		
	初診	再診	合計
1	1		1

ウ 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業（平成9年度～）

在宅で療養する難病患者、障害児者等の歯科疾患予防及び誤嚥性肺炎などの全身疾患予防のために、歯科健診、口腔観察、歯科保健指導又は口腔ケアを行い、必要に応じて予防処置又は口腔諸機能の訓練を行いました。

（ア）被訪問者数

被訪問者状況		年齢		6歳以下		7～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上		合計	
新 規 者 （ 把 握 経 路 別 ）	保健福祉 事務所事業	3	(3)											3	(3)
	市町村事業									1	(1)			1	(1)
	家族依頼														
	その他														
前年度からの継続		1	(1)											1	(1)
被訪問者実数		4	(4)							1	(1)			5	(5)
被訪問者延数		4	(4)							1	(1)			5	(5)

各年齢区分欄の右側：（ ）内は、身障・療育手帳保持者（再掲）

（イ）全新規者の疾患状況

疾患名	年齢		6歳以下		7～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上		合計	
慢性疾患児・障害児			2											2
特定疾患者														
脳血管障害後遺症者														
認知症疾患者														
その他			2						1					3
合計			4						1					5



エ 障害児者等歯科保健事業（昭和 59 年度～）

障害児者や家族等に対し、歯科疾患予防、口腔機能の維持・向上等に関する指導と摂食機能発達支援を保健師・栄養士とともに行いました。

（ア）歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数		受診者数		実施内容内訳（延数）			
		実数	延数	口 腔 内 診 査	歯 科 保 健 指 導	予 防 処 置	R D テ ス ト
個別	54	30	101	96	101	45	
集団	5	28	54		54		
計	59	58	155	96	155	45	

\* 集団（知的障害者通所施設 1 件× 2 回、座間市歯科医師会摂食事業 2 回）

（イ）摂食機能発達支援（再掲）

区分	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
実人数	13	6	28	1	1
延人数	25	15	41	3	2

オ 健康教育

区分	日 時	対 象	内 容	講 師	参加者数
母子	6月27日	座間市サニーキッズ 通園児	う蝕予防	当所歯科医師 歯科衛生士	19
成人 ・ 老人	実施せず				
その他	9月19日	いぶき（知的障害者 施設）	う蝕予防、 口腔機能向上	当所歯科衛生士 座間市歯科医師会	13
	9月24日	神経難病患者	歯周病予防、 口腔機能向上	当所歯科医師 歯科衛生士	6
	3月6日	いぶき（知的障害者 施設）	う蝕予防、 口腔機能向上	当所歯科衛生士 座間市歯科医師会	11

カ 人材の育成（研修・講習会）

研修・講習会名	開設回数	延参加者数	内 容
厚木管内在宅歯科衛生士勉強会	1	9	乳幼児健診における支援方法等について
管内歯科衛生士見学実習	8	14	・う蝕ハイリスク児歯科検診 ・摂食機能発達相談
保健衛生研修	1	54	育てにくさを感じている親に、よりよい育児支援をしていくための理解を深める

キ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

（ア）歯及び口腔の健康づくり推進委員会（平成15年～）

保健福祉事務所管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について、関係者が協議、意見交換し、歯科保健事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	構成員	出席者数
1月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域歯科口腔保健の動向等について</li> <li>・各市町村の歯科保健事業の現状について</li> <li>・担当者会議（部会）の実施状況と今後について</li> </ul>	厚木・海老名市・座間市歯科医師会、管内歯科衛生士会、各市町村関係課長と担当者（海老名市は歯科医師、他は保健師）、8020運動推進員、食生活改善推進団体、健康普及員、社会福祉協議会、厚木地域包括支援センター、学識経験者（大学准教授）、保健福祉部長	23

（イ）8020運動推進員に関する部会（平成24年～）

開催日	内 容	構成員	出席者数
10月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020運動推進員養成事業について</li> <li>・8020運動推進員育成研修の実施状況について</li> <li>・8020運動推進員による普及活動について（今後について）</li> </ul>	各市町村担当保健師、保健福祉部長、保健福祉課長、歯科衛生士、栄養士	11

（ウ）母子歯科保健に関する部会（平成24年～）

開催日	内 容	構成員	出席者数
12月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民歯科保健実態調査報告等について</li> <li>・管内の歯科保健事業（母子保健分野）の現状と課題について</li> <li>・摂食機能発達相談について</li> </ul>	各市町村担当保健師、保健福祉部長、保健福祉課長、歯科衛生士、栄養士	11

ク フッ化物洗口普及啓発事業（平成 18 年度～）

う蝕予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、フッ化物洗口の説明会を行いました。

開催施設数	開催回数	参加者数
実施せず		

ケ 歯間清掃用具普及対策事業（平成 20 年度～）(国庫補助事業)

歯の健康づくりのために重要なセルフケアである歯間清掃用具の活用の推進を図りました。

実施回数	使用法指導人数
61	210

コ 8020 運動推進員養成事業（平成 23 年度～）

8020 運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する 8020 運動推進員の育成を行いました。

(ア) 育成研修（フォローアップ研修）の開催

神奈川県での養成研修を受けた推進員を対象に、管内市町村、関係団体、所内職員と連携して、推進員が自主的な活動を円滑に実施できるように研修を行いました。

a 育成研修

8020 運動推進員		受講者の背景				計
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	
厚木市	1 期生	3				3
	2 期生	3	20			23
	3 期生	10			1	11
海老名市	1 期生	5				5
	2 期生	13	2			15
座間市	1 期生				4	4
	2 期生		2	1	3	6
愛川町	1 期生					
	2 期生					
清川村	1 期生					
	2 期生				2	2
	3 期生				2	2
保健福祉 事務所	1 期生					
	2 期生					
計	1 期生	8			4	12
	2 期生	16	24	1	5	46
	3 期生	10			3	13

b 育成研修内容

開催日	内 容	講 師	参加者数		
			1期生	2期生	3期生
5月30日 (2期生)	講義・美容とくち体操 ・顔面体操とハブラシストレッチ 実習・口腔機能チェック ・各自作成した媒体を使い発表	当所歯科医師 歯科衛生士		35	
8月8日 (1期生継続研 修は・は・は フォーラム)	講義・8020運動とは 実習・情報交換 ・お口の健康体操の音楽を試聴	当所歯科医師 歯科衛生士 栄養士 保健師	11		
8月8日 (2期生)	講義・お口から豊かな暮らし ・高齢者の低栄養 実習・口腔機能チェック ・健口体操復習	当所歯科医師 歯科衛生士 栄養士 保健師		31	
11月21日 (2・3期生合同)	講義・くち体操・基本総点検 ・減塩のコツあれこれ 実習・各自口腔機能チェック ・味覚チェック 3種類の砂糖水溶液 ・グループ毎の媒体発表と実演	当所歯科医師 歯科衛生士 栄養士 保健師 県歯科医師		35	6
2月13日 (3期生)	講義・8020運動とは ・口の機能とその老化 ・くち体操の基本実技 実習・各自口腔機能チェック ・厚木市1期生による実演	当所歯科医師 歯科衛生士 栄養士 保健師			8
合 計	研修開催回数 1期生：1回（交流会） 2期生：3回 3期生：2回（平成26年度継続予定）		11	101	14

c 育成研修修了者

2期生 36名に修了証交付

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	計
修了者(人)	17	11	6		2	36

(6) 救急法普及啓発事業

管内の県民向けに、A E Dの使用を含めた救急法の普及啓発することを目的とした事業で、今年度は、ダウン症児親の会を対象に、厚木市消防本部に講師を依頼して講習会を実施しました。

開催日	内 容	講 師	参加者数
10月1日	講義及び実習 「救急法講習会」	厚木消防本部 救急救命士	18

## 2 感染症・結核対策の充実

### (1) 感染症対策会議（平成 24 年度～）

地域における感染症対策を推進するため、包括的な感染症対策会議として開催しました。

#### ア 感染症対策会議

開催日	内 容	構 成 員	出席者数
7 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 24 年度感染症対策会議実績及び平成 25 年度計画</li> <li>感染症発生状況</li> <li>麻しん風しん対策・感染症集団発生に伴う施設調査指導状況等</li> <li>鳥インフルエンザ（H7N9）について</li> </ul>	医師会、病院協会 感染症指定医療機関 市町村、教育機関等	27

#### イ 部会

部会名	開催日	内 容	構 成 員	出席者数
エイズ部会	8 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV/AIDS の現状</li> <li>青少年エイズ・性感染症予防講演会について</li> </ul>	教育機関 県機関	16
結核部会	10 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内の結核発生状況</li> <li>結核管理の状況</li> <li>結核への対応</li> </ul>	医療機関 結核専門 病院	34

### (2) 結核予防事業

平成 19 年 3 月 31 日で結核予防法が廃止され、結核は、平成 19 年 4 月 1 日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の 2 類感染症になりました。

#### ア 結核健康診断

##### (ア) 管理検診状況（昭和 47 年度～）

再発防止のために、結核治療終了後必要な患者に検診を実施しました。

受 診 者 数 ( 実 )		受 診 結 果 ( 実 )		
保健福祉事務所	医療機関	要 医 療	経 過 観 察	観 察 不 要
7		1	4	2

(イ) 接触者健康診断状況(昭和47年度～)

患者が感染源となって接触者に感染させた疑いのある場合に家族及び接触のあった者に健診を実施し、感染者の発病予防、発病者や感染源の早期発見に努めました。

受診者数(実)		受診結果(実)		
保健福祉事務所	医療機関	要医療	発病の恐れのある者	異常なし
221	4	1	9	215

イ 患者指導

(ア) 保健指導(延)

訪問指導	所内指導	文書指導
108	373	22

(イ) 定期病状調査

治療終了後の経過観察者の適切な患者管理に資するために、医療機関へ定期病状調査を実施しました。

調査件数	79
------	----

(ウ) 服薬支援事業(平成20年度～)(延)

結核患者の確実な抗結核薬の服用により、結核の早期治癒・およびまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防するため、服薬支援(DOTS)を実施しました。

訪問DOTS	面接DOTS	電話等DOTS
108	35	117

ウ 感染症診査協議会結核部会（平成19年度～）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第18条に基づく他に感染させる恐れのある者に対する就業制限、同法第19条に基づく入院勧告及び第37条に基づく公費負担の医療申請内容の適否について診査・協議するため、専門委員により毎月2回（原則第1・第3水曜日）開催しました。

法律の改正により、従前の結核予防法に基づく結核診査協議会（昭和26年度～）は、平成18年度をもって終了しました。

医療費公費負担診査件数

区	分合計	37条申請 入院医療	37条の2申請（一般医療）							
			小計	被用者保険		国保	後期 高齢	生活 保護	国保退 職本人	その他
				本人	家族					
申請件数	236	74	162	34	20	53	46	6	2	1
医療内容合格	233	74	159	33	20	52	45	6	2	1
医療内容不合格										
保留	3		3	1		1	1			

エ 研修

結核医療従事者研修（平成8年度～）

月日	内容	講師	会場	参加者数
11月5日	結核の基礎と施設における対応	公益財団法人 結核予防会結核研究所 平山 隆則	厚木合同庁舎	47



才 結核患者の状況

(ア) 登録患者数

a 年末現在登録患者数（活動性分類別・受療状況・市町村別）

（平成25年12月31日現在）

区分	総数	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）		
		肺結核活動性			肺外結核活動性	治療中			観察中		
		登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性						登録時菌陰性・その他	
		初回治療	再治療								
平成23年	139	31		19	14	15	59	1	13	43	
平成24年	172	11		11	10	8	116	16	19	65	
平成25年	176	16	1	19	6	13	112	9	8	58	
受療別	入院	7	5	1	1						
	在宅医療	48	11		18	6	13		8		
	経過観察	112					112			58	
	不明	9						9			
市町村別	厚木市	73	7		9	2	5	47	3	5	30
	海老名市	38	3	1	4		3	25	2	2	8
	座間市	53	5		5	2	4	33	4	1	14
	愛川町	11	1		1	2	1	6			5
	清川村	1						1			1

b 年末現在登録患者数（年齢階級別・活動性分類別）

（平成25年12月31日現在）

区分	総数	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		肺結核活動性			肺外結核活動性	治療中			観察中	
		登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性						登録時菌陰性・その他
		初回治療	再治療							
総数	176	16	1	19	6	13	112	9	8	58
0~4歳									2	4
5~9									1	4
10~14										1
15~19	1						1			4
20~29	15	1		2	1		9	2	1	3
30~39	18	2	1	2	1	1	9	2	1	11
40~49	21	1		2	2		13	3	2	16
50~59	29	1		2	1	3	22			12
60~69	28	1		4	1		22		1	3
70歳~	64	10		7		9	36	2		

(イ) 新登録患者数

a 新登録患者数(年齢別階級別・活動性分類別・市町村別)

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 (別掲)	
	総数	肺 結 核 活 動 性		その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他	肺外 結核 活動性		
		喀痰塗抹陽性 初回 治療	再治療				治療中	
平成23年	92	30	1	24	20	17	24	
平成24年	59	19		17	14	9	27	
平成25年	72	26	1	20	9	16	14	
0～4歳							2	
5～9							1	
10～14								
15～19							1	
20～29	5	2		2	1		2	
30～39	8	3	1	1	2	1	1	
40～49	5	1		2	2		3	
50～59	9	2		2	2	3	3	
60～69	10	2		4	2	2	1	
70歳以上	35	16		9		10		
市 町 村 別	厚木市	31	9		11	4	7	7
	海老名市	17	8	1	4	1	3	5
	座間市	17	7		4	2	4	1
	愛川町	7	2		1	2	2	1
	清川村							

b 肺結核活動性感染性登録患者数(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

医療区分	区分	総数	被用者保険		国民健康保険 退職者		後期 高齢者	生活 保護	そ の 他	不 明	
			本人	家族	一般	本人					家族
総 数		72	12	4	27	1	26	2			
入 院		29	4	1	9		14	1			
在宅医療		43	8	3	18	1	12	1			
治療なし											
不 明											

(ウ) 結核登録率の推移 (人口10万対・概数)

年	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
昭和 40	58,172	1,312.9	1,603	1,137.8
50	31,581	493.6	1,038	374.6
60	14,368	193.3	462	113.5
平成 7	9,798	118.8	290	59.6
20	4,602	51.4	198	37.6
21	4,602	51.1	190	36.0
22	4,237	46.8	209	39.7
23	4,275	47.2	223	44.2
24	4,008	44.2	172	32.6
25	-	-	176	33.3

(エ) 結核り患率の推移 (人口10万対・概数)

年	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
昭和 40	12,617	284.8	-	-
50	4,700	73.5	134	48.3
60	2,869	38.6	78	19.2
平成 7	2,496	30.3	101	20.7
20	1,629	18.2	101	19.2
21	1,633	18.1	93	17.6
22	1,577	17.4	72	13.7
23	1,561	17.2	92	17.5
24	1,395	15.4	59	11.2
25	-	-	72	13.6

(オ) 結核有病率 (人口10万対)

年	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
昭和 40	26,772	929.9	793	562.7
50	17,880	279.5	597	215.4
60	5,944	80.0	194	47.6
平成 7	3,559	43.2	112	23.0
20	1,386	15.5	84	16.0
21	1,468	16.3	78	14.8
22	1,350	14.9	82	15.6
23	1,310	14.5	82	15.6
24	1,022	11.3	40	7.6
25	-	-	55	10.4

(参考) 平成25年10月1日現在  
 県人口9,081,742人 管内人口528,032人  
 平成9年以前は非定型抗酸菌陽性患者を含む

カ エックス線業務

エックス線撮影業務

事業区分		撮影区分		直接撮影		間接撮影		断層撮影		総 数		前年度実績	
		人	件	人	件	人	件	人	件	人	件		
総 数		159	159					159	159	185	185		
外 検 診	結核定期 患者家族検診	115	115					115	115	145	145		
	管 理 検 診	8	8					8	8	7	7		
大和保健福祉 事務所依頼分	患者家族検診	32	32					32	32	28	28		
	管 理 検 診	4	4					4	4	5	5		

(参考)

B C G接種状況(市町村実施分)

市 町 村 別	接 種 者 数
総 数	3,314
厚 木 市	1,500
海 老 名 市	836
座 間 市	782
愛 川 町	190
清 川 村	6

(3) 感染症予防事業

ア 感染症発生及びまん延予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正があり、平成20年1月1日から麻しんと風しんが定点把握から全数把握となりました。また、必要に応じて調査及び健康診断を行いました。

(ア) 発生状況

分類	病名	発生件数	接触者数	便検査	病原体保有者	海外渡航先
1類						
2類	結核(別記)					
3類	腸管出血性大腸菌感染症	11	11	11		
4類	レジオネラ症	1				
	デング熱	1				
5類	アメーバ赤痢	4				
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				
	後天性免疫不全症候群	8				
	侵襲性肺炎球菌感染症	2				
	梅毒	4				
	風しん	68				
麻しん	4					

(イ) 同行者・関係者検病調査実施件数

分類	病名	調査数	接触者	便検査	患者	病原体保有者
3類	腸管出血性大腸菌感染症	2	14	2		
5類	麻しん	2				

(ウ) 社会福祉施設における集団発生の調査・指導件数

施設種別	件数	備考	*数字は発生件数
高齢者施設	10	インフルエンザ 6 感染性胃腸炎 3	その他 1
障がい者施設	3	インフルエンザ 2 感染性胃腸炎 1	
保育所	6	インフルエンザ 3 感染性胃腸炎 1	水痘 2

(エ) 健康教育

開催日	内 容	対 象 者	参加者数	講 師
11月5日	感染症予防研修会	介護保険事業所	49	医師
11月8日				
11月28日	結核について	一般住民	17	保健師
1月7日	結核について	管内事業所	9	保健師

(オ) 感染症発生動向調査事業（昭和56年度～）

昭和56年7月から18疾病を対象に開始された本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に伴い、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への的確な提供・公開について、法による施策として位置づけられました。

定点把握対象の5類感染症については、患者情報等を収集するため、定点医療機関をあらかじめ選定しています。

- a 定点把握対象疾病 27疾病
- b 定点医療機関
  - (a)インフルエンザ定点 17か所（うち11か所は小児科定点が兼任）
  - (b)小児科定点 11か所
  - (c)眼科定点 3か所
  - (d)STD定点 4か所
  - (e)基幹定点 1か所

(カ) インフルエンザ施設別発生状況調査（昭和48年度～）

インフルエンザによる学校・学級閉鎖状況

区 分	平成25年度					平成24年度				
	施設数	閉 鎖 数			欠席者数	施設数	閉 鎖 数			欠席者数
		学級	学年	施設			学級	学年	施設	
総 数	271	363	26	2	3,556	121	119	22	1	1,195
幼 稚 園	18	25	3	2	285	12	8	5		90
小 学 校	228	313	19		3,004	84	92	7	1	736
中 学 校	25	25	4		267	19	14	9		309
その他の学校						6	5	1		60

(4) 性感染症予防（昭和23年度～）

性感染症予防・啓発

性感染症（エイズを含む）の正しい知識の普及のために、中学生・高校生を対象に青少年エイズ性感染症予防のための講演会を開催しました。

青少年エイズ・性感染症予防講演会の開催状況（昭和40年度～）

実施日	実施校名	参加者 (学年)(人数)		講師
6月28日	厚木市立睦合中学校	2	195	当所 保健師
7月2日	海老名市立大谷中学校	3	187	当所 医師
7月8日	海老名市立今泉中学校	3	188	当所 保健師
7月9日	海老名市立海老名中学校	3	168	健康教育アドバイザー 山田七重
7月10日	厚木市立睦合東中学校	3	231	当所 保健師
11月7日	厚木市立藤塚中学校	3	190	当所 保健師
11月21日	座間市立相模中学校	1～3	53	助産師 張ヶ谷智子
12月11日	厚木市立相川中学校	3	92	当所 保健師
2月25日	座間市立座間中学校	3	188	当所 保健師
2月28日	海老名市立柏ヶ谷中学校	3	256	当所 保健師
3月3日	座間市立南中学校	3	136	助産師 渡辺ふみこ
3月4日	厚木市立厚木中学校	3	252	当所 保健師
3月6日	厚木市立玉川中学校	3	181	当所 保健師
3月7日	海老名市立海西中学校	3	206	当所 保健師
3月10日	厚木市立南毛利中学校	3	237	当所 保健師
中学校 小計 15校		2,760人		
7月5日	相模向陽館高等学校（午前部）	1	154	助産師 張ヶ谷智子
7月5日	相模向陽館高等学校（午後部）	1	143	助産師 張ヶ谷智子
9月24日	厚木清南高等学校（全日制）	1	232	助産師 張ヶ谷智子
9月27日	厚木清南高等学校（定時制）	1～4	230	当所 医師
10月8日	愛川高等学校	3	196	健康教育アドバイザー 山田七重
11月26日	厚木高等学校	2	355	健康教育アドバイザー 山田七重
高等学校 小計 6校		1,310人		
10月11日	座間養護学校 有馬分教室	1～3	45	当所 保健師
1月21日	座間養護学校 相模向陽館分教室	3	20	当所 保健師
特別支援学校 小計 2校		65人		
合 計 23校		4,135人		

(5) エイズ予防事業

ア エイズ予防・啓発（平成5年度～）

エイズの正しい知識の普及・啓発とエイズに対する偏見や差別のない社会の実現を目指して啓発用チラシやパンフレットの配布を行いました。

各種イベントへの参加による啓発

実施日	イベント名	内 容	配布部数
10月20日	湘北短期大学 「湘北祭」	・ポスターパネルの展示、小冊子・グッズの配布	300

イ 教育職向けエイズ・性感染症研修会

学校において実際にエイズ・性感染症の教育を行う養護教諭等を対象に研修を行いました。

実施日	研修名	内 容	講師	出席者数
8月19日	教職員向けエイズ・ 性感染症研修会	「自分を大切にすること こと」を伝えるために	健康教育アドバイザー 山田 七重	21

ウ エイズ検査・相談(昭和61年度～)

エイズの感染予防及び県民の不安や疑問に対応するため、昭和62年2月からエイズの抗体検査を行っています。また、昭和61年4月から保健所に相談窓口を設置し、相談に応じています。平成18年6月以降、即日検査を実施しています。

(ア) エイズ相談・検査実施の推移

区分	年度										
	昭和62	平成16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
相談	152	599	530	575	551	768	711	837	400	529	585
検査	113	196	155	262	349	425	289	273	220	220	266

(イ) 平成25年度エイズ検査(性・年齢別)実施状況

性別	年齢							
	総計	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
男	180	3	61	63	27	15	11	
女	86	9	29	36	10	0	2	
計	266	12	90	99	37	15	13	



(6) 肝臓疾患対策事業（平成7年度～）

ア 講演会・相談会

肝臓疾患に関する正しい知識の啓発普及を図るため、講演会・相談会を開催しました。

実施日	場 所	内 容	参加者数
10月31日	厚木合同庁舎 新館4階AB会議室	・講演会 「肝臓病の食事療法」 - 毎日の食生活を工夫する - 講師 東海大学医学部附属病院 栄養科係長 二郷 徳子 ・相談会	講演会 22  相談会 4

イ B型(抗原)・C型(抗体)肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎の重症化防止等のためにB型及びC型の肝炎ウイルス検査を行いました。

	B型	C型
検査者	7	5
陽性者		

ウ 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、B型及びC型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

肝炎治療医療費助成申請件数 新規193件

### 3 メンタルヘルス対策の充実

#### (1) 精神保健福祉事業

##### ア 精神保健福祉相談・訪問（昭和 32 年度～）

##### （ア）把握区分

区 分	人 数		
	実人数	うち新規	延人数
相 談	681	484	2,025
訪問指導	91	31	285

##### （イ）担当者

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他
相 談	2,140	85	1,587	305	163
訪問指導	305	12	257	34	2

##### （ウ）診断

区分	実 人 数 人	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 障 害	覚 せ い 剤 等 他 の 薬 物	統 合 失 調 症	気 分 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の 人 格 ・ 行 動 障 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相談	681	16	37	15	134	85	44	2	9	10	16	2	1	24	7	144	135
訪問	91	2	1	4	33	6	5		2		2			5	1	16	14

##### （エ）相談種別

区 分	延人数	治 療 の 問 題	生 活 上 の 問 題	社 会 参 加 の 問 題	心 の 健 康 問 題	その他
相 談	2,025	951	913	44	23	94
訪問指導	285	138	131	13		3

##### （オ）相談者

区 分	総 数	本 人	家 族	医 療 機 関	市 町 村	その他
相 談	2,155	663	636	173	235	448
訪問指導	544	211	109	42	66	116

##### （カ）援助方法

総 数	所内面接	電 話	文 書(メール)	訪 問
2,310	277	1,730	18	285

イ 教育広報活動

(ア) 普及啓発

a 講演会

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者数
8月30日	健康教育 「お金をかけずに健康に！」	ウインディーザマ	地域活動支援センター 通所者	8
2月3日	酒害予防講演会 健康教育	当所	高齢者介護関連職 員、一般住民等	53
2月6日	「上手に付き合おう！ アルコール」	神奈川工科大学	学生、教職員	70
2月28日	健康教育 「ダイエットについて」	ウインディーザマ	地域活動支援センター 通所者	9

b 市町村主催普及啓発活動への支援

実施日	主催市町村	内 容
7月4日	清川村	健康祭り（パネル展示、リーフレット配付）
9月12日	愛川町	JA 愛川有線放送 「こころの健康と自殺対策」
10月28日	厚木市	厚木市健康推進リーダー研修「アルコールの正しい知識を知りましょう」
11月2日 1月25日	海老名市	海老名市 心のバリアフリー 講演会他
11月16日	厚木市	地域交流事業 「こころの病を知る」講演会他

(イ) 精神保健福祉協力者（ボランティア）の育成（平成7年度～）

実施日	内 容	対 象	援助 回数	延参加者数
10月14日	海老名市精神保健ボランティア講座 「ゲートキーパー研修」	座間市精神保健ボ ランティア講座受 講生	1	12
2月7日 3月7日	厚木市精神保健ボランティア講座 「精神保健福祉の概要と役割」 「ボランティア講座のまとめ」	厚木市精神保健福 祉ボランティア受 講生	2	38

社会福祉協議会等が主催したものに協力

ウ 組織育成活動（昭和 52 年度～）

精神保健福祉関係団体

区 分	援 助 内 容	援助回数
精神障害者家族会	総会、会の運営助言・ゲートキーパー研修	2
断 酒 会	酒害相談員研修会・酒害相談員研修会等	4
自立支援サービス事業所	・地域活動支援センター等の運営委員会等への参加、市町村窓口との連携、対応方法の検討 ・相談支援事業所等への運営助言及び援助	11

エ 社会復帰の援助等

（ア）本人・家族を対象とした教室（昭和47年度～）

区 分	内 容	開催 参加 回数	参加 延人数
家族教室（当所）	統合失調症と再発予防、就労支援、当事者の話	2	31
家族教室（海老名市）	統合失調症について、当事者の話 他	2	26
家族のつどい（愛川町）	統合失調症について、成年後見人制度、施設見学等	5	25
生活教室（海老名市）	スポーツ、ミーティング、所外活動 他（月 1 回）	9	67
生活教室（愛川町）	調理実習、ミーティング、ハイキング他（月 1 回）	7	22

海老名市の家族教室、生活教室、愛川町の生活教室、家族のつどいは市町と共催で実施

オ 医療保護関係事務

(ア) 精神保健診察 (法27条)

精神保健福祉法に基づく申請、通報に対し精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区 分	件数	調査	指 定 医 診 察 結 果					受療指導等
			要措置	不 要 措 置				
				医保入院	任意入院	応急入院	入院外診療	
23条								
24条	111	49 (62)	26 (35)	7 (2)	1 (0)	2 (0)	6 (9)	7 (15)

( )は24条対応時間外で精神保健福祉センター職員による調査及び結果

(イ) 精神科病院実地指導・実地審査 (法38条の6) (平成9年度～)

a 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

総施設数	厚木市	座間市	清川村
5	3	1	1

b 精神保健福祉法に基づく実地審査却下

(措置入院者及び医療保護入院者等の精神保健指定医による診察)

施設数	実人数	審 査 結 果							
		措置入院		医療保護入院			任 意 入 院		
		継続	措置不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
5	30	2	2	17			8	1	

c 措置入院者新規審査

施設数	実人数	審 査 結 果	
		措 置 継 続	措 置 不 要
1	1	1	

(ウ) 医療機関から法定の届出等受理件数

区 分	件数
医療保護入院者入院届 (法第33条第1項)	815
医療保護入院者入院届 (法第33条第2項)	190
医療保護入院者退院届 (法第33条の2)	814
定期病状報告書 (医療保護入院者)	555
定期病状報告書 (措置入院者)	3

カ 会議等

(ア) 地域精神保健福祉連絡協議会 (平成8年度～)

開催日	内 容	対象委員	出席者数
3月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内の状況について</li> <li>県の精神保健福祉に係る計画について</li> <li>精神保健福祉法改正について</li> <li>自殺対策事業について</li> <li>意見交換</li> </ul>	医療機関、市町村、障害者相談支援事業所、学識経験者、精神保健福祉センター	23

(イ) 地域精神保健福祉連絡協議会実務担当者会議 (平成9年度～)

実施日	内 容	出席者	出席者数
7月12日	地域支援者スキルアップ研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>講義「こんな時、どうしたらよい？」～精神障害者への対応についてのヒントを学ぼう～</li> <li>講師 精神保健福祉センター 精神保健担当部長 山田正夫</li> </ul>	市町村、医療機関、相談支援事業所、訪問看護ステーション、自立支援法関連事業所・包括支援センター等	84

(ウ) 市町村支援

a 市町村精神保健福祉業務・自殺対策連絡会議 (平成12年度～)

開催日	内 容	出席者	会 場	出席者数
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>24年度事業実績</li> <li>25年度事業計画について</li> </ul>	市町村精神保健福祉担当課長・自殺対策担当課長・担当者、精神保健福祉センター職員	厚木合同庁舎・会議室	20
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>25年度事業の進捗状況</li> <li>相談支援事業所の事業概要と実績</li> <li>相談支援事業所との連携と役割</li> <li>26年度計画について他</li> </ul>	市町村精神保健福祉・自殺対策担当者、精神保健福祉センター職員、相談支援事業所所長等		18

b 市町村との連携及び協力 (打合せ・連絡会・事業への協力等)

回 数	33
-----	----

c 市町村職員等への研修

研修名	回 数	参加者数	備 考
地域支援体制推進研修会	1	84	対象：地域関係者等
厚木市職員研修	1	45	厚木市職員
清川村メンタルヘルス研修会	2	8	清川村職員
座間市職員研修	1	43	座間市職員

(工) 厚木保健福祉事務所管内精神保健福祉地域交流会 (平成10年度～)

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者数
11月1日	スポーツ交流会	座間市 スカイアリーナ	管内の自立支援法内施設・デイケア・生活教室に参加している精神障害者	210

関係機関から実行委員を募り、実行委員会を9回開催し実施。今年度で事業終了。

(オ) 管内精神科医療機関、警察署、市町村、保健福祉事務所連絡会 (平成25年度～)

実施日	内 容	場 所	対 象	出席者数
12月2日	・各機関の状況について ・法24条関係について ・各機関の連携について ・情報交換	厚木合同庁舎 会議室	管内の5病院、 5市町村,3警察署	24

H25年度より、管内医療機関連絡会と警察署連絡会議を合同で開催

キ 自殺対策事業

(ア) 水と緑といのちの地域ネットワーク会議

開催日	内 容	出席者	会 場	出席者数
7月9日	ネットワーク会議 ・当所管内の自殺ハイリスク地域の対策について 講師・助言者： 横浜市立大学医学群健康増進科学 河西 千秋 東海大学医学部附属病院 専任講師 市村 篤	管内市町村自殺対策主管課長、相模原市自殺対策主管課長、県保健予防課長、精神保健福祉センター所長、地域関係機関・団体の長等	厚木合同 庁舎・ 会議室	25
6月12日	担当者部会 ・実績報告・計画・情報交換・研修：支援者のストレスケア	管内市町村自殺対策主管課担当者・県保健予防課精神保健福祉センター、関係機関・団体職員		27
9月4日	担当者部会 ・情報交換・報告 ・研修：東海大学病院における未遂者支援 講師：東海大学医学部附属病院 専任講師 市村 篤			27
2月4日	担当者部会 ・情報交換、具体的な方策の検討 公開研修 惨事ストレスの理解と対応 講師：筑波大学人間学 松井 豊			33

(イ) ゲートキーパー研修

対 象	開 催 回 数	参 加 者 数
水と緑といのち地域ネットワーク会議関係	8	204
市町村職員	4	90
断酒会、認知症家族会等関係団体、地域支援関係者	5	137
食品衛生責任者	2	138
事業所の人事管理担当者、健康管理担当者等（*働く人のメンタルヘルス研修）	1	130

\* 厚木労働基準監督署、大和保健福祉事務所、精神保健福祉センターと共催

(ウ) 市町村との連携及び協力

自殺対策会議等出席等	10 回
キャンペーン等普及啓発事業参加	2 回



#### 4 認知症疾患対策の充実

##### (1) 認知症疾患対策保健所事業（昭和58年度～）

高齢化が進む中で認知症高齢者が増加しています。また若年性認知症疾患も増加しているため、高齢者に限らず認知症疾患に関する相談を中心に活動を実施しました。

##### ア 認知症疾患相談事業

##### (ア) 相談内容

区 分	実数	延数	相 談 内 容（延数）							計
			疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	福祉サービス	その他	
総 数	79	140	24	88	68	13	8	11	21	233
精神科医の定例相談	13	20	13	18			2		3	36
保健師・福祉職の随時相談	66	120	11	70	68	13	6	11	18	197

##### (イ) 相談の対象と方法

区分	相談件数 (計)	相談の対象		相談の方法			
		新規相談	継続相談	電話	面接	訪問	その他
総 数	140	79	61	103	32	5	
定例相談	20	13	7		15	5	
随時相談	120	66	54	103	17		

##### イ 認知症疾患訪問指導

訪問数	17 ( 12 )
-----	-----------

( )内は実数

##### ウ 高齢者虐待（再掲）

##### (ア) 相談件数・内容

区 分	実 数	相 談 内 容（延数）						計
		身体虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	介護世話の放棄	その他	
総 数	5	2	2			5	9	
定例相談								
随時相談	5	2	2			5	9	

##### (イ) 訪問指導

件 数	3
-----	---

## エ 組織育成活動

### 家族会

区 分	家 族 会 名	支 援 回 数	内 容	参 加 者 数
厚 木 市	すみれ会	1	総会・話し合い、講演会	12
海 老 名 市	四ツ葉のクローバー	2	総会・話し合い	64
座 間 市	手をつなぐ介護者の会	1	総会・話し合い	21

### オ 講演会

実 施 日	内 容	参 加 者 数
26年2月20日	認知症の医学的理解と対応 大木医院 大木 教久 医師	60

## 5 難治性の疾患対策の充実

### (1) 難病患者地域ネットワーク支援事業（平成10年度～）

厚生省の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等の療養上の不安解消を図るとともに、関係機関との連携により適切な在宅療養支援を行い、患者家族の生活の質の向上を目的として実施しました。

#### ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症患者の個別支援の充実及び在宅療養における保健・医療・福祉の連携を深め、総合的な支援体制の構築を図るため実施しました。

#### (ア) 在宅療養支援計画策定・評価委員会（難病委員会・難病実務担当者会議）

実施日	出席者	内容	出席者数
9月25日	訪問看護事業所 居宅介護支援事業所 各市町村障がい福祉担当課	< 難病実務担当者会議 > 1 難病患者の災害時要援護者の支援の 取り組みについて 2 災害時個別支援計画の活用について	16
1月15日			16
3月6日	医師会 専門病院 地域病院 訪問看護事業所 居宅介護支援事業所 各市町村障がい福祉担当課	< 難病委員会 > 1 厚木保健福祉事務所における難病患者への支援状況 2 災害時要援護者支援体制について	26

#### (イ) 難病患者在宅ケア従事者研修会

実施日	内容	講師	参加者数
2月21日	支援困難・多問題家族へのアプローチを考える	医療法人社団成仁会病院 顧問 春日 武彦	39

イ 医療相談事業（昭和 55 年度～）

患者及び家族の療養上の不安を軽減するために講演会・相談会を実施しました。

実施日	内 容	講 師	参加者数
9月24日	健口体操と快感ブラッシング講習会	厚木保健福祉事務所職員	7
10月1日	膠原病講演会	東京医科大学八王子医療センター総合診療科 准教授 青木 昭子 全国膠原病友の会神奈川支部	14
3月7日	難病リハビリ教室 (パーキンソン病)	神奈川総合リハビリテーションセンター 理学療法士 浅沼 満	36

ウ 訪問相談事業（平成 10 年度～）

医療相談等の事業に参加できない要支援難病患者について患者家族の精神的負担の軽減、QOLの向上を図るため訪問相談員を派遣し、個別の相談・指導・助言を行いました。

相談員	相談回数	相談者（延）
保健師	35	110

(2) 難病患者等居宅生活支援事業（平成 9 年度～）

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため、難病患者等ホームヘルパー養成研修を大和・秦野・足柄上保健福祉事務所と共催で開催しました。

実施日	内 容	講 師	修了者数
11月26日	難病の基礎知識	箱根病院 副院長 荻野 裕	計 25 当所管内受講者 4
	難病患者の心理・家族の理解	日本ALS協会神奈川県支部 岸川 紀美恵	
	難病の保健・医療・福祉制度	大和保健福祉事務所職員	

(3) 特定疾患医療援護

ア 特定疾患医療費給付

神奈川県特定疾患医療給付実施要綱に基づき、入院通院をして治療を受けた者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

特定疾患医療費給付申請件数 新規389件

特定疾患医療受給者数

疾患名	市町村名	総数	合計		厚木市		海老名市		座間市		愛川町		清川村		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
総数		3177	1400	1777	598	709	305	434	389	444	100	175	8	15	
血液系	6 再生不良性貧血	37	19	18	6	7	6	4	7	5		2			
	10 特発性血小板減少性紫斑病	96	30	66	8	27	9	19	7	9	6	11			
	35 原発性免疫不全症候群	6	4	2	2	2					2				
	小計	139	53	86	16	36	15	23	14	14	8	13			
免疫系	1 ベーチェット病	65	29	36	10	18	8	9	8	3	3	6			
	4 全身性エリテマトーデス	311	25	286	12	118	6	77	5	65	2	26			
	9 強直性・皮膚筋炎及び多発性筋炎	163	36	127	18	39	7	37	7	33	3	16	1	2	
	11 結節性動脈周囲炎	37	15	22	5	8	5	3	3	6	2	5			
	13 大動脈炎症候群	16	1	15	1	4		5		4		1		1	
	14 ビュルガー病(バージャー病)	20	20		5		9		4		2				
	19 悪性関節リウマチ	34	14	20	3	5	1	4	8	8	2	3			
	25 ウェゲナー肉芽腫症	11	4	7	2	3		3	2			1			
小計	657	144	513	56	195	36	138	37	119	14	58	1	3		
内分泌系	56 間脳下垂体機能障害 1 PRL分泌異常症 2 コチトロピン分泌異常症 3 ADH分泌異常症 4 下垂体性TSH分泌異常症 5 クッシング病 6 先端巨大症 7 下垂体腫瘍症	58	26	32	14	11	6	10	6	10				1	
	小計	58	26	32	14	11	6	10	6	10				1	
	21 アミロイドーシス	5	2	3		2	1		1	1					
	46 家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)														
	小計	5	2	3		2	1		1	1					
	神経・筋	2 多発性硬化症	55	16	39	6	17	6	11	3	8	1	2		1
		3 重症筋無力症	72	29	43	13	19	4	8	10	10	2	6		
		8 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	27	18	9	7	4	4	2	4	3	2		1	
16 脊髄小脳変性症		88	40	48	18	21	8	10	11	12	3	5			
20 パーキンソン病関連疾患		390	182	208	72	80	32	37	60	69	17	18	1	4	
23 ハンチントン病		1	1						1						
24 モヤモヤ病		61	15	46	7	18	3	13	3	11	2	3		1	
27 多系統萎縮症		38	23	15	10	4	3	4	10	5		2			
38 プリオソン病															
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)		1	1						1						
45 副腎白質ジストロフィー															
47 脊髄性筋萎縮症															
48 球脊髄性筋萎縮症		4	4		3						1				
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎		11	6	5	1	3	1	2	3		1				
小計	748	335	413	137	166	61	87	106	118	29	36	2	6		
37 網膜色素変性症	154	62	92	27	42	10	23	17	17	7	9	1	1		
小計	154	62	92	27	42	10	23	17	17	7	9	1	1		

疾患名	市町村名	総数	合計		厚木市		海老名市		座間市		愛川町		清川村		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
循環器系	26	特発性肥大型(うつ血型)心筋症	92	75	17	26	5	14	4	33	5	2	2		1
	44	ライソゾーム病	3	3		2						1			
	50	肥大型心筋症	3	1	2		1	1					1		
	51	拘束型心筋症													
	52	ミトコンドリア病	5	3	2	1	1	1		1	1				
	小計	103	82	21	29	7	16	4	34	6	3	3		1	
呼吸器系	7	サルコイドーシス	52	22	30	8	9	8	11	5	10	1			
	36	特発性間質性肺炎	27	19	8	11	3	1	2	5	2	2	1		
	39	肺動脈性肺高血圧症	15	5	10	2	5	1	1	1	3	1	1		
	43	慢性血栓性肺高血圧症	6	1	5		2	1	2				1		
	53	リンパ脈管筋腫症	4		4		2		1		1				
	小計	104	47	57	21	21	11	17	11	16	4	3			
消化器系	12	潰瘍性大腸炎	708	397	311	195	126	87	68	93	84	19	32	3	1
	17	クローン病	150	110	40	55	17	20	11	27	8	7	4	1	
	18	劇症肝炎	1		1						1				
	31	原発性胆汁性肝硬変	86	10	76	7	27	2	24	1	19		5		1
	32	重症急性膵炎	15	11	4	3	2	4	2	3		1			
	42	バッド・キアリ症候群	2	1	1			1	1						
	小計	962	529	433	260	172	114	106	124	112	27	41	4	2	
皮膚・結合組織	15	天疱瘡	19	9	10	4	6	4	2	1	1		1		
	28	表皮水疱症	1		1						1				
	29	膿疱性乾癬	5	3	2	1	1	1		1	1				
	34	混合性結合組織病	48	4	44	1	21	2	5	1	12		5		1
	40	神経線維腫症(型型)	13	6	7	1	3	1		4	3		1		
	小計	86	22	64	7	31	8	7	7	18		7		1	
骨・関節	22	後縦靱帯骨化症	85	59	26	17	12	17	4	20	9	5	1		
	30	広範脊柱管狭窄症	6	3	3		2	1	1	2					
	33	特発性大腿骨頭壊死症	65	33	32	13	12	8	12	10	4	2	4		
	55	黄色靱帯骨化症	4	2	2			1	2			1			
	小計	160	97	63	30	26	27	19	32	13	8	5			
	5	スモン	1	1		1									
		小計	1	1		1									

(4) 先天性血液凝固因子障害医療給付(平成元年度～)

平成2年1月1日施行の神奈川県先天性血液凝固因子障害医療給付実施要綱に基づき、入院及び通院をして治療を受けた者に対して医療給付の申請について県への経由事務を行いました。

先天性血液凝固因子障害医療給付申請件数 1件

## 6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業

被爆者健康手帳、健康診断受診者証並びに各種手当の申請等について県への經由事務を行いました。原爆被爆者等の定期健康診断を年2回（5月と11月）実施しました。

### (1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	既交付	新規交付 ( は減)	合計	平成26年3月31日 現在の交付数
総 数	470	10	480	480
被 爆 者 健 康 手 帳	196	3	193	193
第 1 種 健 康 診 断 受 診 者 証	3	2	5	5
第 2 種 健 康 診 断 受 診 者 証	4		4	4
被爆者のこども健康診断受診証	267	11	278	278

### (2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	総 数	被爆者	被爆者の こども	要精検者	要治療者
平成 23 年度総数	10	9	1	5	
平成 24 年度総数	11	8	3	3	
平成 25 年 度	総 数	13	10	3	
	第 1 回	7	6	1	
	第 2 回	6	4	2	

## 7 石綿による健康被害の救済支援事業

### (1) 相談対応状況（平成17年7月～）

石綿（アスベスト）による健康被害に関して、県民の不安解消のための相談対応を実施しました。

相談件数	主 な 相 談
7	健康相談、アスベスト救済法相談等 累計57件

### (2) 申請状況

「石綿による健康被害の救済に関する法律」(平成18年法律第4号)に基づき、石綿（アスベスト）による健康被害を受けられた方及びそのご遺族で、労災補償等の対象とならない方に対して、救済給付の支給を行うための認定申請の受付、送付（独立行政法人 環境再生保全機構）を行いました。

申請件数	申 請 内 容
2	認定申請・療養手当請求



## 8 地域保健師業務連絡会議等実施状況

### (1) 地域保健師業務連絡会議総会

開催日	内 容	出席者数
5月28日	議題 (1)平成24年度地域保健師業務連絡会議実績報告及び平成25年度事業計画について (2)保健福祉事務所・市町村の新規事業及び重点事業等について (3)今後の保健師の保健活動について ~地域保健対策の推進に関する基本的な指針の一部改正について ~地域における保健師の保健活動について~より	24

### (2) 管内保健師研究会

開催日	内 容	参加者数
8月19日	保健師が身に付けたい電話・面接相談のスキル 慶応義塾大学 看護医療学部 標 美奈子准教授	19
10月21日	健康なまちづくり 医療費抑制対策の推進とは ~静岡県小山町の取り組み事例より~	48
12月12日	図上訓練「災害時の保健活動の実際を考える」 ~避難所編~	22

### (3) 定例連絡会

開催日	内 容	参加者数
8月19日	保健師リーダー連絡会 ・看護系大学保健師学生の隣地実習受け入れについて ・地域における保健師の保健活動に関する指針について ・人材育成について	8

### (4) 代表幹事会

開催日	内 容	出席者数
3月19日	・平成25年度地域保健師業務連絡会議について ・平成26年度地域保健師業務連絡会議の計画について	8

9 保健師業務

(1) 家庭訪問

総 数	種 別																			
	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害					生活 習慣病		難 病	小児特定				そ の 他 疾 病	未熟児		妊 産 婦	そ の 他
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上		1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 未 満	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上		
実数 (人)	459	18	50	33	18	34	3				63	7	9	44		7	120	44	2	7
延数 (人)	954	20	110	60	34	85	19				150	11	13	53		8	247	114	5	25

訪問内容別再掲															
精神障害			特定疾患					介護 保険		児 童 虐 待	小児アレルギー疾患				高 齢 者 虐 待
社 会 復 帰	老 人 性 認 知 症	ア ル コ ー ル	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 經 系	消 化 器	専 門 調 査	苦 情 等 調 査		喘 息	皮 膚 炎	ア ト ピー 性	ギ ー の 疑 い	
9	3	2	2			60	1			30					
33	4	2	3			140	7			200					

(2) 所内指導

項 目	計	感 染 症	結 核	精 神 障 害	老 人 性 認 知 症	心 身 障 害 児	障 害 児	生 活 習 慣 病	難 病	小 児 特 定	そ の 他 の 疾 病	妊 産 婦	産 婦	未 熟 児	乳 児	幼 児	思 春 期	工 イ ズ	女 性 の 健 康	そ の 他
面接 (人)	462	7	86	52	5		42		118	67	7	1	5	16	3	2		7	40	4
電話 (人)	2,381	169	294	217	22		270	15	538	97	46	8	5	599	9	54	1	16	14	7
文書 メール (人)	398	3	24				63		221	28	8			51						
合計 (人)	3,241	179	404	269	27		375	15	877	192	61	9	10	666	12	56	1	23	54	11

(3) 家庭訪問以外の保健活動

項目	合計	健康相談	集団検診	健康教育	ダイケア	地区組織活動
開設回数(回)	233	47	100	55	9	22
指導延人員(人)	8,733	759	266	7,101	67	540

## 10 保健福祉サービス連携調整会議

管内における関係機関、団体等の連携により行われる各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、委員会・協議会を開催しました。

平成 25 年度厚木保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議  
(委員会・協議会の総称)

- (1) 

母子保健委員会
---------

 ————— 

実務担当者会議等
----------
- 保健福祉課 1回 保健福祉課 2回
- 医師会代表 医療機関関係者 児童相談所職員  
行政機関職員
- (2) 

地域食生活対策推進協議会
--------------
- 保健福祉課 1回
- 医師会代表 学識経験者 労働基準監督署 管理栄養士  
地域関係団体 行政機関職員 企業・大学
- (3) 

地域精神保健福祉連絡協議会
---------------

 ————— 

実務担当者会議等
----------
- 保健予防課 1回 保健予防課 3回
- 病院・診療所医師 家族会 自立支援事業所  
相談支援事業所 社会福祉協議会 行政機関職員
- (4) 

歯及び口腔の健康づくり推進委員会
------------------

 ————— 

実務担当者会議等
----------
- 保健福祉課 1回 保健福祉課 2回
- 歯科医師会代表 歯科衛生士会代表 地域包括支援センター  
学識経験者 行政機関職員 健口体操普及員 食生活改善推進団体 健康普及員
- (5) 

難病委員会
-------

 ————— 

実務担当者会議
---------
- 保健予防課 1回 保健予防課 2回
- 医師会代表 医療機関関係者 訪問看護ステーション  
居宅介護支援事業所 行政機関職員 学識経験者

## 第3章

# 健康で快適な生活環境の確保

1 食品保健対策の充実	68
2 環境保健対策の充実	74
3 医薬品等安全対策の充実	79

## 1 食品保健対策の充実

食生活の多様化、流通の国際化が進む中、多種多様な食品が出回り、食品の安全性への関心がますます高まっています。食中毒等、食品による危害の発生を防止し、地域において安心できる食生活を確保するため、次の事業を実施しました。

### (1) 食品関係営業施設の監視指導

管内の営業施設数は13,359。県央中核都市域に位置し、東名高速道路等全国へつながる交通の要衝としての立地条件から大規模製造業も多く、広域に流通する食品の安全確保についても力を入れてきました。また、給食施設に対しても集団食中毒防止のため徹底した指導を実施しました。

#### ア 許可営業施設(政令)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規			更新
飲食店営業		4,190	2,041	908	734	375	49	83	379	287	397	2,048
菓子(パンを含む)製造業		312	126	79	61	30	7	9	17	27	19	205
乳処 理 業		3	1	2								2
乳製品製造業		8	4	4					1	1		3
魚介類販売業		487	245	107	84	49	2		69	30	69	375
魚肉練り製品製造業		2	1	1					3		1	2
食品の冷凍又は冷蔵業		32	19	6	2	5			1		1	21
缶詰又は瓶詰食品製造業		3	1			2						2
喫茶店営業		1,131	606	224	155	139	6	1	73	209	145	290
アイスクリーム製造業		4	2	1		1					1	4
乳類販売業		1,069	526	253	172	109	8	1	93	136	97	504
食肉処 理 業		33	20	7	2	4			1	5	3	43
食肉販売業		550	273	112	92	57	10	6	78	30	77	418
食肉製品製造業		8	5	1		2			1			15
食用油脂製造業		2	1			1				1		2
マ・ガリン・ショ・トング製造業		1		1								
みそ製造業		12	5	4	2		1			3		10
ソース類製造業		3	1			2						2
酒類製造業		6	4	1		1						3
豆腐製造業		15	4	4	6	1				2		19
納豆製造業		1		1								1
めん類製造業		13	4	2	5	2					2	20
そうざい製造業		44	22	12	6	4			1	3	1	27
添加物製造業		4		1		3			1			4
清涼飲料水製造業		8	5	2		1			1	1		4
氷雪販売業		2	1		1							
合 計		7,943	3,917	1,733	1,322	788	83	100	719	735	813	4,024

イ 許可営業施設(条例)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規		
魚介類行商		2					2				
魚介類加工業		6	4	2				1			2
発酵乳等販売業		46	30	4	7	3	2	1	15	4	11
合計		54	34	6	7	3	2	2	15	4	13

ウ 届出営業施設

業種	区分	地区別施設数						監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		移動営業
給食施設	学校	43	19	2	12	9	1	62	
	病院・診療所	8	6	1			1	9	
	事業所	9	3	1	3	1	1	12	
	その他	116	49	21	35	9	2	98	
	小計	176	77	25	50	19	5	181	
乳搾取業		51	17	17	6	11		3	
食品製造業		219	115	42	20	35	6	72	
野菜果物販売業		682	301	162	138	68	7	350	
総菜販売業		589	286	132	104	57	8	369	
菓子販売業		1,304	595	293	259	130	17	462	
食品販売業		1,686	756	396	336	143	27	473	
食品添加物製造業		3	2			1		2	
添加物販売業		145	71	28	32	14		110	
器具・容器包装・おもちゃの製造業又は販売業		507	251	105	99	46	6	311	
合計		5,362	2,471	1,200	1,044	524	76	47	2,333

(2) 営業施設数の推移

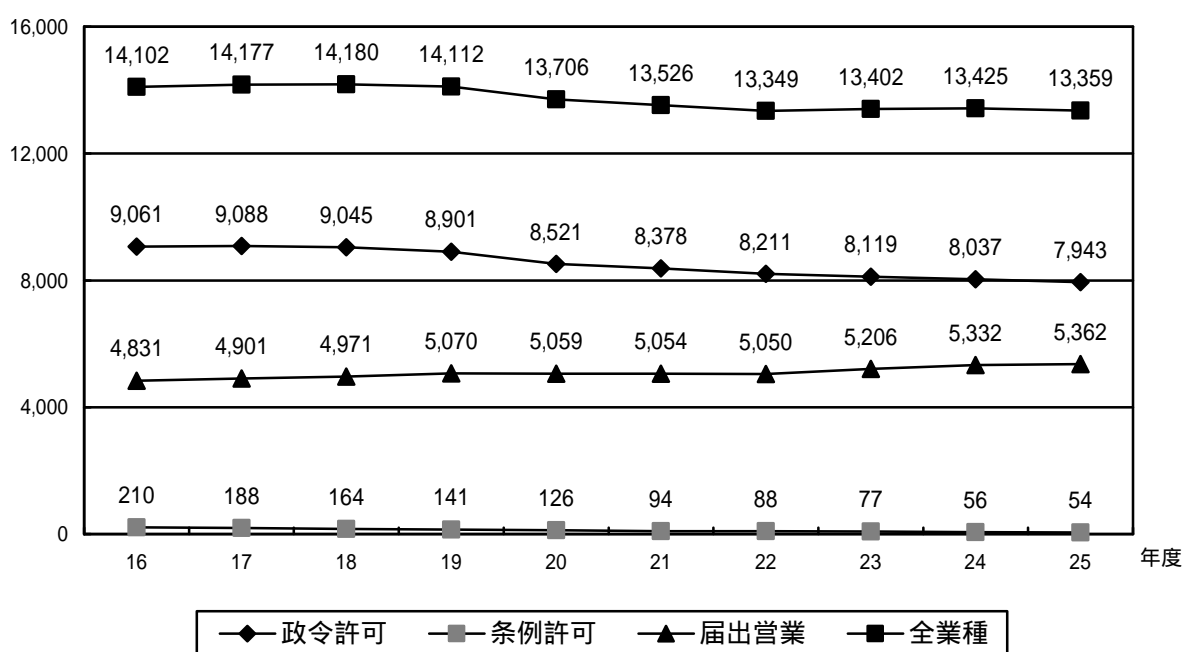
ア 市町村別営業施設数の推移

年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市町村										
厚木市	6,952	7,001	7,009	6,890	6,781	6,696	6,620	6,614	6,563	6,422
海老名市	2,963	2,990	2,987	2,975	2,841	2,794	2,801	2,867	2,925	2,939
座間市	2,486	2,482	2,472	2,474	2,379	2,371	2,314	2,311	2,305	2,373
愛川町	1,411	1,408	1,406	1,471	1,404	1,379	1,334	1,320	1,334	1,315
清川村	188	185	188	187	182	185	166	166	162	161
移動営業	102	111	118	115	119	101	114	124	136	149
合計	14,102	14,177	14,180	14,112	13,706	13,526	13,349	13,402	13,425	13,359

イ 許可・届出別営業施設数の推移

年度		市町村名									
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
政令許可	厚木市	4,567	4,588	4,561	4,433	4,303	4,247	4,175	4,111	4,018	3,917
	海老名市	1,877	1,883	1,876	1,843	1,753	1,720	1,718	1,725	1,738	1,733
	座間市	1,533	1,524	1,523	1,508	1,410	1,386	1,340	1,323	1,299	1,322
	愛川町	932	935	921	956	892	864	815	792	803	788
	清川村	91	89	88	88	88	93	87	84	84	83
	移動営業	61	69	76	73	75	68	76	84	95	100
	合計	9,061	9,088	9,045	8,901	8,521	8,378	8,211	8,119	8,037	7,943
条例許可	厚木市	124	111	97	79	74	59	55	50	37	34
	海老名市	36	31	27	27	23	14	14	9	6	6
	座間市	26	25	20	16	12	8	7	6	6	7
	愛川町	20	17	16	15	13	10	9	9	4	3
	清川村	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
	移動営業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
	合計	210	188	164	141	126	94	88	77	56	54
届出営業	厚木市	2,261	2,302	2,351	2,378	2,404	2,390	2,390	2,453	2,508	2,471
	海老名市	1,050	1,076	1,084	1,105	1,065	1,060	1,069	1,133	1,181	1,200
	座間市	927	933	929	950	957	977	967	982	1,000	1,044
	愛川町	459	456	469	500	499	505	510	519	527	524
	清川村	94	93	97	96	91	90	77	80	76	76
	移動営業	40	41	41	41	43	32	37	39	40	47
	合計	4,831	4,901	4,971	5,070	5,059	5,054	5,050	5,206	5,332	5,362

(営業施設数の年度別推移)



(3) 食品等輸入事務所等の届出

平成 21 年 7 月に制定された「神奈川県食の安全・安心の確保推進条例」に基づく制度として、食品等輸入事務所等の届出に関する規定が平成 21 年 7 月 17 日から施行されました。食品等の輸入を行う事業者に対し、輸入食品の安全性確保に努めました。

市町村		年度			
		22	23	24	25
厚	木 市	6	7	6	6
海	老 名 市	2	3	3	3
座	間 市	1	1	1	1
愛	川 町				
清	川 村				
移	動 営 業				
合 計		9	11	10	10

(4) 食品・器具等の収去検査

管内で製造又は流通する食品を収去し、細菌検査、理化学検査を実施しました。

種 別		区 分	収去件数	不適件数		
				総 数	細菌試験	理化学試験
乳肉食品	魚 介 類		2			
	冷 凍 食 品		5			
	肉卵類及びその加工品		2			
	アイスクリーム類		2			
	小 計		11			
一般食品	穀類及びその加工品		5			
	野菜類・果実及びその加工品		14			
	菓 子 類		19			
	清 涼 飲 料 水		2			
	そ の 他 の 食 品		109			
	小 計		149			
合 計			160			

(5) 違反食品等の発見等

食品の分類	件数	違反内容	措置	備考
その他の食品	1	表示違反	口頭説諭 適正表示後販売	他自治体からの通報

(6) 違反施設

営業の種類	件数	違反内容	措置	備考
飲食店営業	2	食中毒	営業禁止	



(7) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況

食品取扱い施設における食中毒の発生防止を図るため、営業者への衛生教育及びリーフレットの配布を行いました。また、食品衛生指導員による自主管理の推進をサポートし、営業施設の衛生管理の向上を図りました。

家庭における食中毒の注意を喚起するため、広報誌やポスターの掲示による広報活動を行いました。また、食中毒予防週間に管内の各地区でリーフレットを配布して食中毒への注意を呼びかけました。

食中毒の発生にあたっては、被害の拡大を防止するための迅速な対応に努め、さらに原因究明による再発の防止を図りました。

平成25年度の食中毒発生状況（厚木保健福祉事務所管内）

発生日	原因施設	喫食者数	患者数	病因物質	原因食品
6月29日	飲食店	37	16	不明	当該施設で提供された仕出し弁当
1月4日	飲食店	155	74	ノロウイルスG	当該施設で提供された食事
3月25日	飲食店	39	21	ノロウイルス サポウイルス	カキフライ(推定)
3月28日	飲食店	97	46	ノロウイルスG	当該施設で提供された食事

(8) 食品衛生講習会

営業施設の食品衛生責任者に対し、食中毒の発生防止を図るため、食品の取扱い・施設の管理・従業員教育等について講習を行いました。また、消費者に対しても家庭における食中毒予防を目的とした講習会を実施しました。

対象者	回数	受講人数	内容
営業者	37	2,180	食品衛生責任者講習会 食中毒予防講習会 給食施設従事者講習会
消費者	3	200	食中毒予防について
合計	40	2,380	

(9) 苦情処理

食品に対する苦情は消費者からの貴重な情報として受けとめ、事実確認のほか、製造・流通・販売の各ルートについて苦情原因の解明と再発防止に努めました。

分類	内容	総数	異物混入	かび	腐敗	異味	不衛生	容器包装の不良	有症	その他
	乳・乳製品・乳類加工品	4	1			1			2	
	魚介類及びその加工品	13	2		1				10	
	肉卵類及びその加工品	7	3			1	1		1	1
	穀類及びその加工品	4	1	1		1		1		
	野菜類・果実及びその加工品	16	2	2	3	2	2		3	2
	菓子類	20	7	4		2	3		1	3
	その他	91	19			4	9		55	4
	不明	3					1		2	
	施設に関するもの	21				1	15			5
合	計	179	35	7	4	12	31	1	74	15

食品の分類は衛生行政報告例に準ずる

(10) 免許取扱い数

項目	免許申請	書換	再交付	合計
調理師	153	16	26	195
製菓衛生師	16		1	17
ふぐ包丁師	3	2	1	6
合計	172	18	28	218

## 2 環境保健対策の充実

### (1) 生活衛生指導事業

#### ア 生活環境指導事業

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場、公衆浴場の許認可及び衛生措置の遵守等を図るため、監視指導を行いました。

また、「墓地、埋葬等に関する法律」(昭和23年法律第48号)第10条の規定に基づく許可等を行いました。

#### (ア) 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 (確認) 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
理 容 所	336	155	74	77	29	1	13	9	150
美 容 所	611	254	162	148	44	3	43	26	246
ク リ ー ニ ン グ 所	312	135	73	76	27	1	10	23	128
旅 館	85	54	6	2	8	15		2	32
興 行 場	6	1	3	1	1				2
公 衆 浴 場	49	26	11	6	2	4	1	2	12
合 計	1,399	625	329	310	111	24	67	62	570

#### (イ) 免許事務処理

免 許 の 種 類	免 許 申 請	書 換 ・ 訂 正	再 交 付	返 納
ク リ ー ニ ン グ 師	2	1	2	2

#### (ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
美 容 所 従 事 者 等	1	292

#### (エ) 生活環境衛生関係施設

区 分	施 設 数	監 視 指 導 件 数
化 製 場	1	1
火 葬 場	2	2
産 あ い 物 処 理 業	1	1

#### (オ) 墓地等相談件数及び許可件数

項 目	相 談 数	許 可 数
新 設	2	1
変 更		
廃 止	1	
合 計	3	1

イ 建築物衛生対策強化事業

法に基づく届出の受理、建築物登録業の登録事務を行うとともに、特定建築物への立入検査及び指導を行い、衛生的環境の確保に努めました。

(ア) 特定建築物設置施設数及び監視指導状況

用 途	施設数	市 町 村 別 施 設 数					内 訳	監視件数
		厚 木 市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		
総 数	161	98	30	24	8	1	35	
興 行 場	3	1	1		1			
百 貨 店	1	1					1	
店 舗	53	21	15	12	4	1	10	
事 務 所	66	47	9	8	2		18	
学 校	17	11	2	3	1			
旅 館	9	8	1				5	
集 会 場	5	4	1					
図 書 館	2		1	1				
遊 技 場	2	2						
その他学校	3	3					1	

(イ) 建築物衛生管理業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 区 分	登 録 営 業 所 数	監 視 指 導 件 数
建 築 物 清 掃 業	28	2
空 気 環 境 測 定 業	6	1
空 気 調 和 用 ダ ク ト 清 掃 業		
飲 料 水 水 質 検 査 業	5	4
飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	34	4
建 築 物 排 水 管 清 掃 業	7	1
ね ず み 昆 虫 等 防 除 業	11	
環 境 衛 生 総 合 管 理 業	3	1
合 計	94	13

(ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
特 定 建 築 物 管 理 者 等	1	53

ウ 浄化槽維持管理推進事業

浄化槽の維持管理について、設置届の受理及び大規模施設への立入調査等を実施するとともに、保守点検業の登録事務及び指導を行い、生活環境の改善に努めました。

(ア) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

項目 規模別等	設置基数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	
501人槽以上	11	5	2	1	3		11
500人槽以下	14,963	4,335	4,341	3,209	2,894	184	18
合 計	14,974	4,340	4,343	3,210	2,897	184	29

(イ) 浄化槽保守点検業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 事 業 者 数	管内登録営業所数	監 視 指 導 件 数
54	17	11

エ 住まいと環境衛生推進事業

ダニアレルギーをはじめとする住まいに起因する健康被害の予防及びねずみ・衛生害虫等の駆除に係る相談窓口を開設し、必要な情報提供や改善方法等の助言指導を行いました。

主 な 相 談 内 容	件 数
衛生害虫等の対策	27 (うち同定9)再掲
室内空気環境	
浄化槽等	1
飲料水	

(2) 水浴場等対策事業

プールについて、設置の許可及び監視指導を行うとともに、講習会を開催し、公衆衛生の確保と事故防止に努めました。

ア 水浴場等施設数及び監視指導状況

項目 区分	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
プール	38	11	6	14	5	2		1	38

イ 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
プ ー ル 管 理 者	1	20

(3) 温泉指導監督事業

源泉、温泉利用施設の許可及び監視指導を行い、温泉の適正利用及び保護に努めました。

源泉、温泉利用施設

区 分	源 泉 数	利用施設数	源 泉 地 名
厚 木 市	10	10	七沢・飯山
海老名市	2	2	
座 間 市	1	1	
清 川 村	4	1	別所
合 計	17	14	

(4) 動物保護等対策事業

犬、猫の飼育指導を行うとともに、犬による事故の状況について調査・指導を行い再発防止に努めました。

ア 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

項目 区分	頭 数	市 町 村 別 頭 数				内 訳 清 川 村
		厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	
犬	6	2	1	3		
猫	19	14		3	2	
合 計	25	16	1	6	2	

イ こう傷事故の発生状況

市 町 村 別 頭 数					内 訳 清 川 村	合 計
厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村		
5	4	3	2		15	

ウ 犬、猫の苦情相談等の処理状況

(ア) 動物保護センター依頼分(件数)

捕獲依頼	引取依頼	合 計
15	2	17

(イ) 保健福祉事務所処理分

内容 区分	内 容					合 計
	放し飼い	鳴き声	糞尿	野良猫に餌	その他	
犬	5	25	6		9	45
猫			2	33	5	40
合 計	5	25	8	33	14	85

エ 犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況（参考）

区分	項目	頭数	市 町 村 別 頭 数 内 訳				
			厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村
	登 録	31,683	13,469	7,017	7,775	3,085	337
	（内）新規登録	1,894	815	356	455	234	34
	狂犬病予防注射	24,307	10,617	5,814	5,300	2,318	258

(5) 水道指導事業

水道事業の許認可、専用水道の確認及び簡易専用水道の指導を行うとともに、水道水源の水質検査や水道施設の維持管理の指導を行い、安全な飲料水の確保に努めました。

ア 水道施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	町 村 別 施 設 数 内 訳		監視 件数
			愛 川 町	清 川 村	
	上 水 道	1	1		
	簡 易 水 道	1		1	1
	専 用 水 道	4	3	1	4
	簡 易 専 用 水 道	69	63	6	4
	合 計	75	67	8	9

イ 小規模水道等施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	町 村 別 施 設 数 内 訳		監視 件数
			愛 川 町	清 川 村	
	小 規 模 水 道	2	2		2
	小規模受水槽水道	87	70	17	1
	合 計	89	72	17	3

ウ 水道普及状況

（平成 25 年 3 月末現在）

区分	項目	総数	町 村 別 給 水 人 口 内 訳	
			愛 川 町	清 川 村
	上水道（県営）	9,595	9,595	
	上水道（市町営）	28,813	28,813	
	簡 易 水 道	3,237		3,237
	専用水道(自己水源)			
	合 計	41,645	38,408	3,237
	行政区域内総人口	44,491	41,174	3,317
	普及率（％）	93.6	93.3	97.6

### 3 医薬品等安全対策の充実

医薬品等の安全性・有効性、品質の確保、適正使用の推進及び安全対策の充実並びに麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止対策の強化などを通して県民の健康づくりと地域における保健医療サービスの向上に努めました。

#### (1) 薬事指導監督事業

##### ア 薬局・医薬品販売業等施設数

業種 市町村	総数	薬局	医薬品販売業			薬局医薬品 製造販売業	薬局医薬品 製造業	医薬品等製 造業・製造 販売業等	医療機器 販売・賃 貸業
			店舗	卸売	小計				
厚木市	910	81	37	73	110	5	5	71	638
海老名市	351	39	19	9	28	3	3	11	267
座間市	328	38	26	7	33	4	4	13	236
愛川町	118	11	6	4	10			20	77
清川村	2								2
合計	1,709	169	88	93	181	12	12	115	1,220

##### イ 薬局・医薬品販売業等取扱い件数

区分 業種	総数	薬局	医薬品販売業					薬局医薬品 製造販売業	薬局医薬品 製造業	高度管理医療機器 等販売・賃貸業	管理医療機器 販売・賃貸業
			店舗	卸売	薬種商	特例	小計				
新規許可申請	192	15	10	10			20			35	122
許可更新申請	43	18		8			8	1	1	15	
製造販売承認申請											
製造販売届											
許可証等書換・再交付申請	24	9	4	2			6			9	
管理者兼務許可申請	10	3		7			7				
変更届	1,083	459	192	83			275	3	3	163	180
休止・再開届										2	
廃止届	82	8	7	7		1	15	2	2	8	47

##### ウ 薬事監視実施状況

項目 業種	総数	薬局	医薬品販売業			薬局医薬品 製造販売業	薬局医薬品 製造業	製造販売業等 医薬品等	医療機器 販売・賃 貸業
			店舗	卸売	小計				
対象数	1,709	169	88	93	181	12	12	115	1,220
立入検査	395	56	32	37	69	3	3	28	236
違反件数	3	2							1



(2) 毒物・劇物指導監督事業  
ア 毒物・劇物販売業等施設数

業種 市町村	総数	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上 取扱者	その他
		一般	農薬用 品目	特 定 品 目	小 計				
厚木市	126	98	16	3	117	5		2	2
海老名市	41	31	4		35	2	1	1	2
座間市	39	30	1		31	3	1	1	3
愛川町	16	9	2		11	4	1		
清川村	1		1		1				
合計	223	168	24	3	195	14	3	4	7

毒物及び劇物取締法第22条第1項に規定のあるもの(以下同じ)

イ 毒物・劇物販売業等取扱い件数

業種 区分	総数	毒物・劇物販売業				業務上 取扱者
		一般	農薬用 品目	特 定 品 目	小 計	
新規登録申請・届出	10	10			10	
登録更新申請	14	14			14	
登録票書換え等交付申請	5	5			5	
毒物・劇物 取扱責任者	設置届	6	6		6	
	変更届	33	28	4	33	
変更届	14	14			14	
廃止届	10	9		1	10	

ウ 毒物・劇物監視実施状況

業種 項目	総数	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上 取扱者	その他
		一般	農薬用 品目	特 定 品 目	小 計				
対象数	223	168	24	3	195	14	3	4	7
立入検査	89	49	4		53	8	4		24
違反件数	3	2			2	1			

(3) 麻薬指導監督事業  
ア 麻薬免許取扱い件数

業種 区分	総数	施用者	管理者	小売業者	卸売業者	研究者
新規申請	114	78	9	27		
継続申請	285	219	17	43	4	2
変更	76	52		18	5	1
廃止及び返納	361	282	26	45	5	3

イ 麻薬監視実施状況

業種 項目	総 数	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬研究者	麻薬取扱い施設	
					病 院	診 療 所
対 象 数	262	7	104	4	21	126
立 入 検 査	63	4	35	1	20	3
違 反 件 数						

(4) 薬物乱用防止対策事業  
街頭キャンペーン等

実施日	名称	場所	内容	参加者数
6月22日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	小田急線本厚 木駅前	約1,500人対象 啓発資材配布	42 (12団体)
10月27日	えびな安全・安心 フェスティバル	海老名市役所	約1,300人対象 啓発資材配布 着ぐるみによるアピール 乱用薬物の見本の展示 薬物乱用防止指導員による 薬物相談 ビデオの放映 啓発パネルの展示 お薬相談コーナー 禁煙相談コーナー	42 (7団体)
11月4日	座間市ふるさと 祭り	座間市立座間 中学校	約800人対象 啓発資材配布	14 (3団体)
2月23日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	コピー愛川店	約800人対象 啓発資材配布	25 (9団体)

## 第4章

# 健やかで安心した生活を支える福祉の推進

- 1 福祉事業の普及・支援
- 2 福祉事業の推進

82  
86



## 1 福祉事業の普及・支援

### (1) 地域福祉の事業

#### ア 民生委員児童委員（昭和23年度～）

社会調査、要援護者の指導、福祉施設との連携、関係行政機関への協力など、地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員児童委員の活動費等を負担しました。

区分 市町村名	定数			活動件数		訪問回数	連絡調整回数	活動日数
	民生委員 児童委員	主任児童委員	合計	相談・支援件数	その他の活動件数			
総数	977	94	1,071	11,415	162,293	188,542	90,774	161,512
厚木市	269	31	300	4,305	71,315	71,922	31,970	51,011
大和市	254	22	276	3,231	34,217	42,420	24,958	41,364
海老名市	141	10	151	974	15,631	33,591	9,103	19,287
座間市	133	12	145	1,108	14,940	15,119	10,610	19,715
綾瀬市	113	12	125	966	19,079	15,010	9,919	20,048
愛川町	59	5	64	816	6,563	9,775	3,982	9,166
清川村	8	2	10	15	548	705	232	921

#### イ 障害福祉相談員

従来、県が設置していた障害福祉相談員については、平成25年度より、市町村が実施主体となることとなりました。なお、相談員に対する研修については、引き続き県保健福祉事務所が企画・開催することとなりました。

開催日	内容	講師等	参加者数
2月7日	講演とグループワーク 講演テーマ「私を支えた『ありがとう』の言葉」	大和市ぴあ相談員 織戸 郁子	相談員、担当行政職員ほか14名

ウ 地域福祉コーディネーター事業

(ア) 県央保健福祉圏域地域福祉担当者情報交換会・研修会

地域福祉担当者のスキルアップを図るとともに、相互の連携を促進するために、講演、グループワーク、情報交換等を行いました。

開催日	内 容	講師等	参加者数
3月20日	講演 「少子・超高齢社会に対応する地域アセスメントの方法を探る」	法政大学現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 宮城 孝	市町村、市町村 社会福祉協議 会、地域包括支 援センター等 20名

(イ) 地域福祉コーディネーター養成研修

地域福祉コーディネーター養成研修として、県央保健福祉圏域における行政、団体の取組みについて支援することにより、地域福祉の担い手の養成、地域でのネットワークづくり、ネットワークの機能強化を図ることを目的とし、研修を実施しました。

愛川町社会福祉協議会・愛川町との共催による地域福祉コーディネーター養成講座

開催日	内 容	講 師	参加者数
2月25日	研修「制度を知ろう 神奈川県地域福祉と 地域福祉コーディネーター」	神奈川県地域福祉課 塚本ひとみ 副主幹	自治会関係者、当事者団体、地域団体、ボランティア、民生委員児童委員、愛川の底力住民委員会など地域福祉活動に携わっている者及び一般住民 45名
	研修「制度を知ろう 高齢者福祉制度」	愛川町高齢介護課及び 愛川町地域包括支援センター職員	
	講義「地域福祉活動と個人情報保護について」	田園調布学園大学 教授 村井 祐一	
3月3日	研修「制度を知ろう 障害者福祉制度」	愛川町福祉支援課職員	同上 46名
	研修「制度を知ろう 社会福祉協議会とは」	愛川町社会福祉協議会 職員	
	講義「権利擁護の考え方 ～どのような方に必要なの?～」	みなと横浜法律事務所 弁護士 内嶋 順一	
3月19日	講演「新しい福祉コミュニティづくりを進めよう～地域福祉コーディネーターへの期待～」	ルーテル学院大学 学長 市川 一宏	同上 42名

## エ バリアフリーの街づくり

バリアフリー街づくりに関する県民への普及啓発、とりわけ児童生徒に対して「心のバリアフリー」についての意識の高揚を図るため、パンフレット等の配布を行ったほか、海老名市との共催によるイベントを開催しました。

開催日	内 容	場 所	配布数 参加者数
11月3日	海老名市障がい者週間キャンペーン「えびなこの町でくらすよう」スタンプラリーにおけるスタンプ収集児童生徒に県刊行「街も私たちもバリアフリーになろうよ」パンフレットを配布して普及啓発	海老名中央公園	合わせて 350部を配 布
12月3日から 9日まで	海老名市障がい者週間キャンペーン 市役所エントランス展示に併せて上記パンフレットを配布して普及啓発	海老名市役所	
11月2日 12月7日 1月25日	「第11回海老名こころのバリアフリー-2013」公演(体験型学習会)「障がいのある子ってどんな気持ち～見て、聞いて、体験して知ろう!～」講師：座間キャラバン隊 講演「発達障がいを知ろう～発達障がいを理解するために～」講師：東戸塚こども発達クリニック院長 小澤武司 講演「子育て体験談～わが子を育てる上で大切にしてきたこと～」講師：山下みどり アトラクション 和太鼓演奏 県立中央農業高校 和太鼓部	えびな市民活動センター交流館 わかば会館 海老名市文化会館小ホール	82 98 427

(2) 福祉の貸付事業

母子福祉資金等の貸付（昭和 28 年度～）

母子家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸付をしました。

区分 市町村名		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	合計 (件)
母子 福祉 資金	厚木市								2	33	33	1		69
	海老名市								1	8	3			12
	座間市									5	3			8
	愛川町								1	1	3			5
	清川村													
	合計								4	47	42	1		94
寡婦 福祉 資金	厚木市									1				1
	海老名市													
	座間市													
	愛川町													
	清川村													
	合計									1				1



## 2 福祉事業の推進

社会福祉法による福祉事務所として、愛川町と清川村を所管し生活保護法、母子及び寡婦福祉法、児童福祉法等を施行しました。

### (1) 生活保護

生活保護制度は、国民の最低生活の保障という社会保障制度の根幹をなす制度です。要保護者の最低生活の保障と自立の助長を図るため、国の法定受託事務として町村の協力を得ながら実施しています。保護率は平成4年度（平均）の2.17%を最低とし、その後は経済状況の低迷等を背景に増加に転じ、特に平成20年秋以降の世界同時不況による雇用情勢の悪化によって被保護世帯数・人員とも増え続けています。平成24年度末の保護率（平均）は12.40%です。

#### ア 被保護世帯数・人員（平成26年3月31日現在）

区	分	総数	生活	住宅	教育	医療	介護	出産	生業	葬祭
			扶助	扶助	扶助	扶助	扶助	扶助	扶助	扶助
総数	世帯数	373	307	319	46	323	63		21	1
	人員	570	482	483	70	445	64		27	1
愛川町	世帯数	348	296	307	45	300	58		21	1
	人員	543	469	469	68	422	59		27	1
清川村	世帯数	25	11	12	1	23	5			
	人員	27	13	14	2	23	5			

#### イ 保護の開始・廃止

##### （ア）理由別開始世帯の状況（年度計）

区	分	総数	世帯主の傷病	世帯員の傷病	死亡離別不在	稼働収入の減少				年金の減少等	仕送りの減少等	預貯金の消費	要保護者の転入	その他
						定年失業	老齢	倒産等	その他					
総	数	88	30		10	21	8	2	4	3	3	3		4
愛	川	町	85	29		9	21	7	2	4	3	3		4
清	川	村	3	1		1		1						

(イ) 理由別廃止世帯の状況(年度計)

区 分	総 数	世帯主 傷病の 治癒	世帯員 傷病の 治癒	死 亡	失 踪	稼働 収入の 増加	働 き手 の 転 入	年 金 等 の 増 加	引 取 り	施 設 入 所	医 療 他 法	要 保 護 者 の 転 出	そ の 他
総 数	84	9		15	8	24		10	5	2		6	5
愛 川 町	81	9		15	8	24		10	4	1		5	5
清 川 村	3								1	1		1	

(ウ) 世帯類型別被保護世帯の状況(平成26年3月31日現在)

区 分	総 数	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
総 数	373	147	50	45	54	77
愛 川 町	348	133	49	37	53	76
清 川 村	25	14	1	8	1	1

(エ) 労働力類型別被保護世帯の状況(平成26年3月31日現在)

区 分	総 数	稼 働 世 帯					非稼働 世帯
		世帯主が働いている世帯				世帯員 稼働	
		常 用	日 雇	内 職	そ の 他		
総 数	373	46		7		9	311
愛 川 町	348	44		7		9	288
清 川 村	25	2					23

(オ) 医療扶助(平成26年3月31日現在)

区 分	入 院		入 院 外	
	精 神	そ の 他	精 神	そ の 他
総 数	15	14	3	413
愛 川 町	3	13	3	402
清 川 村	12	1		11

(カ) 生活保護施設措置状況(平成26年3月31日現在)

区 分	救護施設	更生施設
総 数	3	1
愛 川 町	3	1
清 川 村		

(キ) 保護の開始廃止件数の推移

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
開 始	117	105	91	102	88
廃 止	92	81	72	98	84

(ク) 保護世帯等の推移(年度平均)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
世 帯 数	313	341	362	375	375
人 員	475	513	539	563	564
保 護 率 %	10.56	11.40	11.80	12.40	12.75

ケ 生活保護費の状況(25年度計)

区 分	総 額 (円)	内 訳 (円)			
		生 活 扶 助	住 宅 扶 助	教 育 扶 助	医 療 扶 助
総 額	445,584,413	258,867,688	156,637,239	7,583,749	7,786,261
愛 川 町	427,687,816	246,619,848	151,333,962	7,547,449	7,477,771
清 川 村	17,896,597	12,247,840	5,303,277	36,300	308,490

区 分	内 訳 (円)				
	介 護 扶 助	出 産 扶 助	生 業 扶 助	葬 祭 扶 助	施 設 事 務 費
総 額	304,245	139,122	5,087,127	2,195,146	6,983,836
愛 川 町	303,555	139,122	5,087,127	2,195,146	6,983,836
清 川 村	690	0	0	0	0

(2) 障害児者福祉

郡部を所管する福祉事務所においては、特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当(経過措置分)の支給事務を行っています。

特別障害者手当等の支給状況(平成26年3月31日現在)

区 分	特別障害者手当(人)	障害児福祉手当(人)	福祉手当 (経過措置分)(人)
総 数	22	12	1
愛 川 町	20	10	1
清 川 村	2	2	

(3) 児童福祉

郡部を所管する福祉事務所における児童福祉法の業務として、母子生活支援施設並びに助産施設に関する相談・入所措置事務を行っています。

ア 母子生活支援施設利用状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	2	

イ 助産施設利用状況（年度計）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	3	

(4) 女性保護

売春防止法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づき、要保護女子の相談指導並びに女性相談所等への一時保護を行っています。

女性相談員相談状況（主訴別取扱状況）

（平成 25 年度）

区分	総計	人間関係											その他の者の暴力	男女問題	家庭不和	その他		
		夫等				子ども			親族			交際相手						
		夫等の暴力	酒乱・薬物中毒	離婚問題	その他	子どもの暴力	養育不能	その他	親の暴力	暴力的親族	その他	交際相手の暴力					暴力的交際相手	その他
総数	44	12						1		2	5			7				
愛川町	35	6						1		2	5			7				
清川村	8	5																
その他	1	1																

区分	経済関係				医療関係				住居問題	帰宅先なし	不純異性交遊	売春強要	ヒモ・暴力団関係	5条違反	人身取引
	生活困窮	サラ金・借金	求職	その他	病気	精神的問題	妊娠・出産	その他							
総数	8			3						6					
愛川町	8			3						3					
清川村										3					
その他															

その他は、愛川町・清川村以外の都道府県市町村からの相談

(5) 母子寡婦福祉

母子自立支援員を配置し、母子寡婦福祉資金の貸付など母子寡婦の生活全般にわたる相談を行っています。

母子自立支援員相談状況

(平成25年度)

区	分	総数	愛川町	清川村	その他	小計
総	数	599	476	106	17	599
生活一般	住	宅	17	10		27
	医 療	病 気	5			5
		障 害	2			2
		そ の 他	3	2		5
	家 庭 紛 争	夫等の暴力	10	20	5	35
		そ の 他	15	8	1	24
	就 労	求職・転職	108			108
		資格取得 職業訓練	5		1	6
		職場の悩み				
		そ の 他	9		1	10
	結 婚					
	養 育 費		3	2		5
	借 金		19	6		25
そ の 他		83	20	2	105	
児 童	養 育	保育所入所		1		1
		虐 待		2		2
		そ の 他	17	28		45
	教 育		21		1	22
	非 行					
	就 職					
そ の 他		2		1	3	
生活 援 護	母子福祉 資 金	貸 付	38	3		41
		償 還	33	1	1	35
	寡婦福祉 資 金	貸 付				
		償 還				
	公 的 年 金					
	児 童 扶 養 手 当		25		4	29
	生 活 保 護		19	1		20
税						
そ の 他		35			35	
そ の 他	売 店					
	た ば こ 販 売					
	公 営 住 宅					
	母子福祉施設利用 母子生活支援施設		7	2		9

## 第5章

# 保健・医療・福祉基盤づくりと連携

1 保健医療福祉計画の推進	91
2 保健医療福祉の基盤づくり	94
3 適正な保健・医療・福祉等の確保	97
4 健康危機管理対策	105



## 1 保健医療福祉計画の推進

### (1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成 9 年度～）

医療法に基づく、二次保健医療圏である県央地区（厚木・大和保健福祉事務所管内）の保健・医療・福祉に係る重要事項を協議するため県央地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

#### 県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内 容	出席者数
2月6日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県央地区における病床協議について</li><li>・ 「県央地域保健医療推進指針」の作成について</li></ul>	28
3月13日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県央地区地域保健医療計画の進行管理について</li><li>・ 県央地区保健医療福祉推進指針について</li><li>・ 県・市の災害時医療対策について</li><li>・ 県央地区における救急医療体制および医療連携について</li><li>・ 地域包括ケア会議県央地区の取り組み状況について</li><li>・ その他</li></ul>	24

### (2) 地域医療対策

県央二次保健医療圏における地域医療の確保、整備・充実に必要な事項を協議するため県央地区地域医療専門部会等を設置しています。

#### ア 県央地区地域医療専門部会の開催（平成 20 年度～）

平成 25 年度開催なし

#### イ 県央地区二次救急医療広域協力円滑化ワーキンググループの開催（平成 21 年度～）

開催日	内 容	出席者数
7月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基本ルールについて</li><li>・ 平成 25 年度下半期輪番調整原案について</li></ul>	22
1月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基本ルールについて</li><li>・ 平成 26 年度上半期輪番調整原案について</li></ul>	18



ウ 脳卒中・心筋梗塞医療連携調整会議の開催（平成 22 年度～）

開催日	内 容	出席者数
8月21日 (心筋梗塞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度上半期における心筋梗塞輪番体制の結果について</li> <li>平成 25 年度下半期にかかる県央地区心筋梗塞輪番表(案)について</li> <li>平成 26 年度以降のあり方について</li> </ul>	29
8月28日 (脳卒中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度上半期における脳卒中輪番体制の結果について</li> <li>平成 25 年度下半期にかかる県央地区脳卒中輪番表(案)について</li> <li>平成 26 年度以降のあり方について</li> </ul>	30
3月7日 (心筋梗塞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度下半期における心筋梗塞輪番体制の結果について</li> <li>平成 26 年度以降のあり方について</li> <li>平成 26 年度上半期にかかる県央地区心筋梗塞輪番表案について</li> </ul>	29
3月7日 (脳卒中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度における脳卒中輪番体制の結果について</li> <li>平成 26 年度以降のあり方について</li> <li>平成 26 年度上半期にかかる県央地区脳卒中輪番表案について</li> </ul>	32

(3) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域保健総合部会を設置しています。

ア 県央地区地域保健総合部会の開催（平成 20 年度～）

開催日	内 容	出席者数
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域職域連携推進事業「生活習慣病対策事業」について</li> <li>情報提供「日本の労働行政の歩みと課題」 厚木労働基準監督署長 酒井 康之</li> </ul>	24

イ 県央地区地域職域連絡会議の開催（平成 23 年度～）

開催日	内 容	出席者数
10月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病対策事業について</li> <li>これからの地域職域連携を考える</li> </ul>	21
1月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病対策事業について</li> <li>県央地区事業所用健康づくり対策啓発用媒体について</li> </ul>	25

#### (4) 医療と介護の連携

2025年には、医療介護が必要な高齢者が急増し、ピークを迎えることが見込まれています。このような状況の中、高齢者が尊厳を保ちながら、住みなれた地域で自立した生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供できる仕組み）の構築を国、県、市町村がそれぞれの役割の中で取り組んでいます。

厚木保健福祉事務所では、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携の推進を図ることを目的に、平成24年度から地域包括ケア会議を設置しました。

#### 厚木保健福祉事務所地域包括ケア会議の開催（平成 25 年度～）

開催日	内 容		出席者数
7月2日	第1回	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域包括ケア会議委員へのアンケート調査結果について</li><li>・ 今後の厚木保健福祉事務所地域包括ケア会議の取組みについて</li><li>・ その他</li></ul>	20
2月15日	第2回	<p>研修会「在宅医療を推進するための医療・看護・介護の連携づくり～柏市におけるモデル事業の実践～」 講師：前柏市保健福祉部長 木村清一 議題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 厚木保健福祉事務所地域包括ケア会議各地区分科会の平成 25 年度取組み状況について</li><li>・ 各委員所属団体の取組み状況について</li><li>・ 平成 26 年度の方向性について</li></ul>	20

## 2 保健医療福祉の基盤づくり

### (1) 保健衛生研修

地域保健活動を展開する上での新たな専門的知識・技術の習得を図るため、県央地区の保健医療福祉関係職員等の研修を実施しました。

実施日	内 容	講 師	参加者数
9月27日	障がい児等摂食嚥下機能に問題のある児に提供する食形態の工夫	横須賀市療育相談センター 管理栄養士 佐藤 由美子	21
2月28日	未熟児などの育てにくさをどう捉えるか～マラーの分離個体化過程に学ぶ～	臨床心理士 酒井 道子	53

### (2) 保健福祉事務所実習指導

#### ア 看護学生等合同オリエンテーション

前期 平成25年4月12日(金)71名  
後期 平成25年9月6日(金)50名

#### イ 実習指導

保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数	備 考(学校名等)
総 数	16	122	
保 健 師	3	15	北里大学、国際医療福祉大学、横浜市立大学
看 護 師	5	84	県立保健福祉大学、湘南短期大学、湘南平塚看護専門学校、横浜市病院協会看護専門学校、小田原看護専門学校
栄 養 士	6	19	県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、関東学院大学、相模女子大学、文教大学、神奈川工科大学
歯 科 衛 生 士	1	3	新横浜歯科衛生士学院
そ の 他	1	1	信州大学

### (3) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

ア 国民生活基礎調査 調査日6月6日 対象数7地区 205世帯〔世帯票・健康票・介護票〕

調査日7月11日 対象数1地区 26世帯〔所得票・貯蓄票〕

- イ 人口動態調査（月報）
- ウ 医療施設動態調査（月報）
- エ 地域保健・健康増進事業報告（年度報）
- オ 社会福祉統計報告（月報、四半期報、年度報）
- カ 衛生行政報告例（年度報）
- キ 病院報告（患者票：月報、従事者票：年度報）

### (4) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙、有線放送等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア 市町村広報紙の活用

毎月全世帯配布で発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ 県央愛川農業協同組合有線放送の活用

毎月1回、加入世帯に対して健康・食品・環境衛生等についての講話を放送しました。

4月	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について	10月	糖尿病について
5月	生活習慣病予防について	11月	インフルエンザについて
6月	薬物乱用の防止について	12月	食中毒予防（ノロウイルス）について
7月	食中毒予防について	1月	子育て・孫育ての話
8月	動物の飼育と愛護について	2月	結核の予防について
9月	自殺対策について	3月	歯の健康について

ウ 厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせを掲載し、広く県民への周知を図りました。

エ ツイッターによる情報発信

幅広い年齢層に対し、より効果的に事業内容等の情報を伝えるため、ツイッターによる情報発信を随時行いました。（平成24年7月開始）

## (5) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。

(活動した時間4時間を1人として換算)

区分	市町村事業	総数 (人)	厚木市 (人)	老名市 (人)	座間市 (人)	愛川町 (人)	清川村 (人)
保健師	母子保健	68	19	12	18	13	6
	老人保健	14		14			
	健康増進	24	1	4	3		16
	精神保健福祉	25	1	24			
	その他						
	小計	131	21	54	21	13	22
栄養士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進	6	1	1	1	1	2
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	6	1	1	1	1	2
歯科医師	母子保健	5	1				4
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	5	1				4
歯科衛生士	母子保健	4					4
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	4					4
精神保健福祉士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉	34	9		2	16	7
	その他						
	小計	34	9		2	16	7
合	計	180	32	55	24	30	39

### 3 適正な保健・医療・福祉等の確保

#### (1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項 目	病 院 診 療 所					助 産 所	あんま・ はり・ きゅう	柔道整復	歯 科 技 工 所	
	病 院	X線装置	一 般	歯 科	X線装置					
総 数	52	72	183	49	151	3	75	45	2	
許 可 申 請	開 設		25	1						
	使 用	17		1						
	変 更 等	26		13	4					
届 出	開設・ 設置		16	43	11	76	1	31	8	1
	変 更 等	8	41	57	26	13	1	32	31	1
	休 廃 止	1	15	44	7	62	1	12	6	

#### (2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設の分類と検査実施サイクル

病院	病床を20床以上有する医療施設	毎年1回
有床診療所	19床以下の病床を有する医療施設	3年に1回以上
人工透析診療所	人工透析設備を有する医療施設	3年に1回以上
特定眼科診療所	要綱に定める要件を充たす医療施設	5年に1回以上

医療施設定期立入検査対象機関数

(平成25年4月1日現在)

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	合計
病 院	11	5	3	1	1	21
有 床 診 療 所	7	6	3			16
人工透析診療所	2	2	1	1		6
特定眼科診療所	1	1				2
合 計	21	14	7	2	1	45

#### ・平成25年度定期立入検査施設

病院 21施設(厚木市内11、海老名市内5、座間市内3、愛川町内1、清川村内1)  
 診療所 6施設(厚木市内1、海老名市内4、愛川町内1)

ア 病院立入検査

名 称	実施日	名 称	実施日
森の里病院	9月3日	神奈川リハビリテーション病院	11月5日
さがみ野中央病院	9月10日	七沢リハビリテーション病院脳血管センター	11月5日
座間厚生病院	9月17日	相模台病院(精神)	11月12日
厚木佐藤病院(精神)	9月20日	相武台病院	11月19日
湘陽かしわ台病院	9月26日	東名厚木病院	11月28日
湘南厚木病院	10月1日	仁厚会病院	12月3日
オアシス湘南病院	10月4日	近藤病院	12月9日
愛川北部病院	10月8日	海老名メディカルサポートセンター	12月13日
厚木市立病院	10月15日	海老名総合病院	12月13日
愛光病院(精神)	10月25日	清川遠寿病院(精神)	1月27日
相州病院(精神)	10月31日		

イ 診療所立入検査

有床診療所（2施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
海老名耳鼻咽喉科クリニック	1月9日	海老名ハートクリニック	2月13日

ウ 人工透析診療所（3施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
厚木クリニック	1月14日	愛川クリニック	1月30日
海老名クリニック	1月21日		

特定眼科（1施設）

名 称	実施日
海老名眼科診療所	2月7日

## ウ 調査内容

病 院	診 療 所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療従事者の配置状況、健康診断</li> <li>・ 構造設備</li> <li>・ 医療安全に関する総合的対策 ( 院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等 )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療従事者の配置状況、健康診断</li> <li>・ 構造設備</li> <li>・ 医療安全に関する総合的対策 ( 院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等 )</li> </ul>

## エ 調査結果

		病院(件)	診療所(件)
指摘事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に重大な影響を及ぼすおそれがあり、早急な改善が必要な事項		
指導事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に影響を及ぼすおそれがあり、改善が必要な事項	2	1
口頭指導	医療法及び関連法令の違反であって、当該違反事実等の改善が比較的容易であると認められる場合及びその他、所長が特に必要があると認めた事項	25	25

## (3) 医療関係相談

### ア 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	4	2	2	4	7		1	4	5	9	2	43

### イ 相談方法

電話	来庁	メール	合計
34	7	2	43

### ウ 対象施設

病 院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他(エステ等)	合計
20	13	3	1	6	43

### エ 相談内容

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	22
医療行為についての疑義、苦情	7
医療関係法令に関する照会	3
医療機関についての問い合わせ	
その他	12



#### (4) 介護保険

##### 事業者指導（平成13年度～）

介護保険指定事業者等を対象に、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を目的として、指導しました。

##### ア 集団指導

介護保険指定事業者等を対象に、介護給付サービスの取扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点等について、介護保険課、高齢施設課、各保健福祉事務所が共同で、講習会を開催しました。

開催日	会場
5月23、24日	総合医療会館
5月29、30日	海老名市文化会館
6月18、19日	藤沢市民会館
6月27、28日	小田原市民会館

## イ 実地指導

実地指導は、介護保険指定事業者等の事業所に出向き、帳票類等関係書類の閲覧や関係者の面談により、人員、運営基準等の遵守状況を確認し、改善に向けて指導を行いました。

### 実地指導実施状況（サービス数）

区 分	厚木市		海老名市		座間市		愛川町		合計		
	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	
居宅介護支援事業者	4		3		6		4		17		
居宅 サ ー ビ ス	訪問介護	2	2	2	2	6	6			10	10
	訪問入浴介護							1	1	1	1
	訪問看護	1	1	1	1	2	2			4	4
	訪問リハビリテーション			1	1					1	1
	通所介護	6	5	4	3	9	8	2	2	21	18
	通所リハビリテーション			1	1			1	1	2	2
	短期入所生活介護	3	3			2	2			5	5
	短期入所療養介護							1	1	1	1
	特定施設入所者生活介護	2	2							2	2
	福祉用具貸与	1	1	1	1					2	2
	特定福祉用具販売	1	1	1	1					2	2
計	16	15	11	10	19	18	5	5	51	48	
介護 保 険 施 設	介護老人福祉施設	3				2				5	
	介護老人保健施設							1		1	
	介護療養型医療施設										
	計	3				2		1		6	
合計	38		24		45		15		122		

## ウ 課題研修

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症のまん延が懸念される通所系、施設系サービス事業者を対象に、感染症の正しい理解を促し、感染症予防に役立てるため、研修会を開催しました。

### 感染症予防研修会の開催（平成24年度～）

開催日	内 容	講師	参加者数
11月5日	高齢者の感染症予防と感染症が起きた時の対応 ～結核、インフルエンザ等の基礎知識と発生・まん延防止対策～	保健予防課 医師	22
11月8日	同上	同上	28

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項 目	総 数	医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	管 理 栄 養 士	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	歯 科 技 工 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員
登録申請	464	19	3	47	17	6	167	13	35	79	5	17		29	9	5	6	7
籍訂正	281	7	4	25	21	9	135	17	11	26	1	8		5	9	2		1
再交付	19		2	1	1		11	2				1			1			
登録抹消	10	3	2	1				4										
返納	1											1						

(6) 献血

平成 25 年度、神奈川県献血目標の 311,134 人のうち厚木保健福祉事務所の目標は 8,639 人(3,404 リットル)と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、11,131 人に献血をしていただきました。

ア 献血数・目標数(市町村別)

項目	総 数		200ml		400ml		成 分	
	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)
総 数	8,639	11,131	259	553	8,380	10,578		
厚 木 市	4,210	5,081	126	203	4,084	4,878		
海老名市	2,326	3,993	69	289	2,257	3,704		
座間市	1,468	1,426	44	48	1,424	1,378		
愛川町	595	595	18	13	577	582		
清川村	40	36	2		38	36		

イ 年次別献血数・目標数

項目	総 数		200ml		400ml		成 分	
	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)
平成 16 年	11,928	12,038	579	757	11,221	11,247	128	34
平成 17 年	12,027	11,744	460	1,027	11,512	10,716	55	1
平成 18 年	11,581	14,379	462	1,288	11,119	13,091		
平成 19 年	10,558	14,931	411	988	10,147	13,943		
平成 20 年	12,572	14,106	430	436	12,142	13,670		
平成 21 年	12,672	11,558	447	122	12,225	11,436		
平成 22 年	12,779	10,531	418	101	12,361	10,430		
平成 23 年	8,543	9,515	523	103	8,020	9,412		
平成 24 年	9,009	9,470	271	196	8,738	9,274		
平成 25 年	8,639	11,131	259	553	8,380	10,578		

## (7) 表彰

ア 神奈川県保健衛生表彰(知事)(平成25年11月13日:神奈川県総合医療会館)

## 個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	佐藤一守	医師 医療法人社団藤和会 厚木佐藤病院
	小島邦彦	医師 小島小児科
	小俣アツ子	看護師 代田産婦人科
	山田豊美	看護師 医療法人社団藤和会 厚木佐藤病院
環境衛生関係功労者	土屋忠亮	獣医師 土屋動物病院
食品衛生関係功労者	三好正秋	飲食店営業 セブンイレブン愛川半原店

## 施設の部

施設名	業種	施設の所在地
大千里	飲食店営業	座間市相模が丘

イ 保健衛生表彰(厚木保健福祉事務所長)(平成25年11月27日:厚木市文化会館)

## 個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	窪田隆浩	医師 内科小児科窪田医院
	野見山哲	医師 さがみ野診療所
	浅利秀男	医師 浅利クリニック
	落合義徳	歯科医師 落合歯科医院
	国分真	歯科医師 国分歯科クリニック
	櫻田弘行	歯科医師 櫻田歯科医院
	山名佳見	薬剤師 ヤマナ薬局
	柿崎ミネ子	准看護師 中村医院
	佐藤克美	看護師 森の里病院
	神鳥裕江	管理栄養士 愛川北部病院
環境衛生関係功労者	竹之内貴英	獣医師 さくら動物病院
	益田由美子	理容師 ヘアーサロンマスタ
	井上てる子	美容師 みさ美容室
食品衛生関係功労者	影山邦夫	食品販売業 ライフボックスかげやま
	加藤隆	飲食店営業 レストラン ベンガル
	鈴木正昭	めん類製造業 有限会社 羽田製麺
	津田亘	飲食店営業 給食 協和総業株式会社
地域公衆衛生活動関係功労者	平本佳世子	食生活改善推進団体 あゆみ会
	蝦名あつ子	保健師 海老名市役所

## 優良施設

施設名	業種	施設の所在地
ケンコーマヨネーズ株式会社厚木工場	ソース類製造業	厚木市上依知
そば処 黒沼	飲食店営業	厚木市小野
日本電産トーソク(株)社員食堂	飲食店営業・給食	座間市相武台

献血推進団体

表彰団体名	所在地
株式会社リコー 厚木事業所	厚木市下荻野
株式会社シーイーシー	座間市東原
愛川ライオンズクラブ	愛川町中津

#### 4 健康危機管理対策

##### (1) 災害対策

ア 県央現地災害対策本部等訓練に参加しました。

概要 南関東地震が発生した場合を想定して、その被害を最小限にするための一連の現地対策本部等訓練で、危機管理体制の検証および関係機関相互の強化や対応力の向上を図った。

日時 11月15日(金) 7:00～15:45

場所 県央地域県政総合センター、厚木高等学校、弥生高等学校、管内各市町村庁舎

団体名	参加機関
緊急参集職員	厚木合庁、弥生高校、津久井合庁及び県央管内市町村に参集する職員
県	県央地域県政総合センター、厚木警察所、厚木土木事務所、厚木水道営業所、厚木保健福祉事務所、
市町村	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
関係機関	自衛隊

イ 神奈川県・県央地域8市町村合同図上訓練に参加しました。

概要 神奈川県と県央地域の市町村との連携強化並びに災害対策本部等における災害対応能力の向上を図った。

日時 26年1月30日(木) 10:00～17:00

場所 総合防災センター

団体名	参加機関
県	災害対策課、県央地域県政総合センター、厚木土木事務所、厚木土木事務所東部センター、厚木保健福祉事務所
市町村	相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
関係機関	自衛隊

## 第6章 資料

1 保健福祉事務所の沿革	106
2 各種協議会委員一覧	109
3 地域保健推進特別事業	110
4 職員の研究・学会等発表	111





## 1 保健福祉事務所の沿革

### (1) 沿革

#### ア 厚木保健福祉事務所（厚木保健所）

昭和	15年	9月	愛甲郡厚木町川田 1328 番地に開設 管轄区域は愛甲郡一円（2町15村）であり、管内人口は 46,250人（男23,284人、女22,966人）
	24年	4月	所轄区域（愛甲郡一円、座間町、海老名町、有馬村）が変更
	27年	5月	厚木町厚木 1806 番地に新築移転
	28年	10年	課制（総務課、衛生課、保健予防課）施行
	42年	6月	厚木市水引 2 - 3 - 6 に新築移転（県庁舎）
	44年	7月	総務課を管理課に課名変更
	45年	7月	次長制を設置し、保健婦係が保健婦室となりました。
	46年	6月	座間保健ステーション（座間市栗原 4989 - 1 ）開設
	49年	8月	衛生課が環境衛生課と食品衛生課に分かれ、4課1室制と なりました。
	51年	7月	環境、食品衛生課担当の技幹制を設置
	55年	4月	海老名支所（海老名市さつき町 39 の 1 番地）開設
	58年	6月	保健婦室が健康指導課となりました。
	60年	4月	座間保健ステーションを座間市に移管 保健衛生部と環境衛生部の2部制となりました。
	60年	5月	厚木市水引 2 - 3 - 1 に住居表示が変更
	61年	3月	試験検査室等改修及び耐震補強工事完成
	61年	4月	保健衛生部衛生検査課を設置
平成	2年	9月	開所 50 周年を迎えました。
	5年	4月	食品衛生課に食品衛生専門監視班を設置
	9年	4月	海老名支所の廃止とともに、県央地区行政センター福祉部 と統合し、厚木保健福祉事務所として設置され、管理課、 企画調整室、保健福祉部保健福祉課・保健予防課・生活福 祉課、生活衛生部環境衛生課・食品衛生課・衛生検査課の 2部1室7課となりました。

- 15年 6月 衛生検査課が衛生研究所に組織改編され、2部1室6課となりました。
- 19年 3月 津久井保健福祉事務所の廃止により、相模原市の介護保険事業者指導等が当所の所掌事務に加わりました。
- 19年 4月 企画調整室が企画調整課と変更され、2部7課となりました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

## イ 愛甲福祉事務所

- 昭和 26年 10月 社会福祉事業法に基づき福祉事務所を開設  
管轄区域は、愛川町、高峰村、中津村、煤ヶ谷村、宮ヶ瀬村、厚木町、南毛利村、玉川村、荻野村、小鮎村、睦合村、依知村の2町10村となりました。
- 30年 7月 行政組織改正により次長制を廃止。保護課が福祉課となる。  
厚木町の市制施行町村合併により所轄区域変更（愛甲郡、高座郡、三浦郡）。また、高座愛甲福祉事務所と改名し事務所も厚木市内に移転しました。
- 42年 6月 行政組織改正により次長制度を復活し、総務課、福祉課、保護課の3課制となりました。
- 44年 7月 行政機関設置条例の一部改正により県央福祉事務所と改名、所轄区域は、葉山町、寒川町を湘南福祉事務所へ移管し、伊勢原町が当管内に移りました。  
行政組織改正により、専任所長制となりました。
- 46年 3月 伊勢原町の市制施行により所轄区域から除外
- 46年 11月 海老名町及び座間町の市制施行により、所轄区域から除外
- 53年 11月 綾瀬町の市制施行により、所轄区域から除外
- 60年 4月 行政組織改正により県央地区行政センター福祉部(愛甲福祉事務所)となりました。
- 平成 5年 4月 身体障害者福祉法、老人福祉法が町村に移譲されました。
- 9年 4月 行政組織改正により、厚木保健福祉事務所(愛甲福祉事務所)となりました。
- 15年 4月 知的障害者福祉法が町村に移譲されました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長

平成 9年4月～ 村上 賢二  
 平成11年4月～ 堀井 昌子  
 平成13年4月～ 西平 浩一  
 平成16年4月～ 山徳 みゑ  
 平成18年4月～ 岡部 英男  
 平成23年4月～ 鈴木 仁一  
 平成25年4月～ 深澤 博史

(3) 施設の状況

ア 土地

	所在地	用 途	面 積 (㎡)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	厚木市水引 2-3-1	敷 地	2,933.27	県 有	S41.12.14

イ 建物

	名 称	構 造	面 積 (㎡)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	別 館	R C 2	1,292.28	県 有	S42.3.31
	車 庫	R C 平	70.80	〃	S44.12.20
	倉 庫	B 平	20.22	〃	S47.3.10
	〃	木 平	4.86	〃	S54.11.20
	〃	S F 平	8.02	〃	H14.3.25
	ボンベ庫	B 平	2.56	〃	S61.3.27
	計		1,398.74		
厚木合同庁舎	本館 4 階	R C 5	702.23	使 用	H8.4.1

## 2 各種協議会委員一覧

### (1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿(平成25年度)

分野	氏名	役職名
医師会	笹生 正人	厚木医師会長
	小林 米幸	大和市医師会長
	田中 昭太郎	海老名市医師会長
	浅利 秀男	座間綾瀬医師会長
病院	杉山 茂樹	厚木病院協会会長
	高原 和亨	大和・高座病院協会会長
歯科医師会	馬場 賢輔	厚木歯科医師会長
	青木 則博	大和歯科医師会長
	山川 晃司	海老名市歯科医師会長
	櫻田 弘行	座間市歯科医師会
薬剤師会	石射 正英	厚木薬剤師会長
	岡 豊香	座間市薬剤師会長
看護協会	山田谷 節子	神奈川県看護協会県央支部長
社会福祉協議会	大友 奉	座間市社会福祉協議会長
	増田 譲	綾瀬市社会福祉協議会長
学校	佐藤 剛文	厚木愛甲地区学校保健会長
	前田 良行	大和市学校保健会長
食生活団体	吉崎 雅江	あゆみ会長
健康普及員団体	座間 アサ子	健康ざま普及員連絡協議会長
食品団体	前場 敏男	厚木地区食品衛生協会会長
環境団体	大塚 祐二	厚木地区環境衛生協会会長
行政機関	秋山 芳彦	厚木市市民健康部長
	金子 正美	大和市健康福祉部長
	窪田 一夫	海老名市保健福祉部長
	柴田 浩一	座間市健康部長
	大木 保幸	綾瀬市市民こども部長
	吉川 進	愛川町民生部長
	折田 克也	清川村保健福祉課長
	井上 保男	厚木児童相談所長
	深澤 博史	厚木保健福祉事務所長
	中井 信也	大和保健福祉事務所長

### (2) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿

(平成26年3月末現在)

氏名	所属等	備考
菊池 福三郎	菊池医院	医療に関する学識経験者
楠原 範之	くすはら内科クリニック	医療に関する学識経験者
山野 義光	海老名総合病院	医療に関する学識経験者
前田 育恵	相模台病院	医療に関する学識経験者
見上 廣子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者
鏡 絹子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者

(3) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会感染症部会委員名簿

(平成26年3月末現在)

氏名	所属等	備考
山本 裕 康	厚木市立病院	感染症指定医療機関の医師
馬嶋 順 子	馬嶋医院	医療に関する学識経験者
楠原 範 之	くすはら内科クリニック	医療に関する学識経験者
見上 廣 子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者

3 地域保健推進特別事業

区分	事業名	主管課	協力団体等
	該当なし		

#### 4 職員の研究・学会等発表

演 題 名	発表日	研究・学会等名称	発 表 者
保健福祉事務所の他職種協働チームによる摂食機能発達支援事業の展開	平成 25 年 5 月 16 日	第 62 回日本口腔衛生学会・総会	北原 稔
多職種協働による摂食機能発達相談支援事業の地域展開について	平成 25 年 10 月 24 日	第 72 回日本公衆衛生学会・総会	北原 稔
厚木市における妊婦歯科検診事業の実績と追跡調査結果について（第 2 報） ～妊婦出産の状況と口腔内状況との関連性から～	平成 25 年 11 月 1 日	第 59 回神奈川県公衆衛生学会	北原 稔
厚木市妊婦歯科検診事業とその追跡調査結果～未熟児・障害児の発生予防の意義を込めて～	平成 26 年 2 月 23 日	平成 25 年度神奈川県地域歯科医療研修会	北原 稔
ダウン症児親の会（ひまわり会）の役割について～親の会入会前後の意識や行動変化～	平成 26 年 1 月 31 日	第 35 回神奈川県地域保健師研究発表会	相馬 佑美
摂食機能発達相談事業における保健師の役割 障害児及び慢性疾患児の摂食機能発達支援について	平成 26 年 1 月 13 日	第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会	熊谷 有香
ハイリスク地区の自殺対策 ～地域ネットワーク会議の取組み経過について～	平成 25 年 9 月 14 日	第 37 回日本自殺予防学会	大平 友子
難病患者の災害時要援護者支援体制について ～3年間の取組みを通して～	平成 26 年 1 月 13 日	第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会	沼田 則子
厚木保健福祉事務所における難病患者の災害時要援護者支援の取組みについて	平成 26 年 1 月 31 日	第 35 回神奈川県地域保健師研究発表会	沼田 則子
ノロウイルス等食中毒における調理従事者の症状調査結果について～今後の健康チェック体制の確立を目指して～	平成 25 年 7 月 12 日	平成 25 年度神奈川県衛生監視員等研究発表会	黒澤 淑子
農業関係機関と連携した漬物製造者に対する衛生指導の取組みについて	平成 25 年 7 月 12 日	平成 25 年度神奈川県衛生監視員等研究発表会	尾島 康世



神奈川県

厚木保健福祉事務所

厚木市水引2-3-1

〒243-0004

電話(046)224-1111(代表)